

事業報告編

■貸出サービス

1. 貸出サービス

武蔵野市に在住、在勤、在学の方、及び隣接市区（三鷹、小金井、西東京、杉並、練馬）に在住の方は、利用登録をすることができます。

【貸出可能数、期間】

資料名	貸出数	貸出期間
図書・雑誌	合わせて10冊	2週間
CD	2タイトル	
ビデオ・DVD	合わせて2タイトル	

2. 有効登録者数

(人口は令和3年4月1日現在)

	一般(人)	児童(人)	合計(人)	人口(人)	利用率(%)
市民	27,430	5,626	33,056	147,975	22.3
市外	23,934	2,768	26,702	—	—
合計	51,364	8,394	59,758	—	—

※ 有効登録者数は、登録者の内、令和2年度内に利用があった人数。

登録者の定義は、全国規模で統計を取っている日本図書館協会の有効登録者数を採用。

※ 利用率は人口に対する利用者の割合

※ 市外計は在勤・在学・近隣市区在住者

3. 貸出数

開館 日数	図書			雑誌	視聴覚 資料	相互貸借	合計	一日平均
	一般	児童	小計					
236	1,175,637	638,630	1,814,267	111,646	37,673	3,429	1,967,015	8,335

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年3月2日から6月14日まで臨時休館となったため、令和元年（平成31）度の8割、例年の7割強の開館日数となっています。そのため貸出数の前年度比は、一般書19.8%減、児童書10.8%減、全体としては16.8%の減となっています。一日平均の貸出数は、平成30年度と比較して、0.5%減となっています。

武蔵野市立図書館の個人貸出数は、全国の同規模自治体（人口10～15万人）の中ではここ10年余り、第1位が続いています。（『図書館年鑑2020』より）また、近隣自治体の中でも、令和元（平成31）年度の市民一人当たりの貸出数16.03冊・点は第1位です。（『令和2年度 東京都公立図書館調査』より）

なお、開館日数は、館により異なるため、3館のうち最低1館が開いていた日数を載せています。

■ 予約・リクエストサービス

1. 予約・リクエストサービス

図書館では、利用者から要望のあった資料が貸出中又は他館在庫の場合は予約、所蔵していない場合はリクエストとして受け付けています。

※AV資料（視聴覚資料）、新聞・雑誌（新規購入）、及びコミックスについては、リクエストは受け付けていません。

予約・リクエストの申し込みに対して、以下の方法により提供しています。

搬送：希望する資料が受け付けした市立図書館がなく、市内の他の図書館が所蔵している場合は、受取希望館に資料を搬送し、利用者に提供しています。

返却待ち：希望する資料が全て貸出中の場合は、返却されたものから予約申込順に希望者に資料が割り当てられ、受取希望館で提供しています。

購入：利用者からの要望に十分応えるために、購入可能な図書は図書館の収集方針を下に購入し、できる限り提供しています。

相互貸借：予約図書は年々増加し、また多岐に渡っています。これらの要求に応えるために、市内図書館の蔵書だけでなく、都立図書館、多摩地区の市町村立図書館、都内の区立図書館、国立国会図書館などの相互貸借システムを利用して、利用者からの要望にできる限りお応えしています。

※平成26年5月から、予約・リクエストサービスの見直しを行い、市内在住者を優先するため、市内図書館に未所蔵の資料のリクエストについては、市内在住者のみをサービス対象としました。

※令和3年1月12日から、市内在住・在勤・在学の方が、先行して予約ができるように予約方法を変更しました。近隣市区在住の登録要件の方は、資料の発行年月から24か月経過後に予約することができます。

2. 予約件数（館別受付予約件数）

単位：件

	中央	吉祥寺	プレイス	Web予約	全館合計
搬送・返却待ち	19,803	19,774	33,885	481,382	554,844
購入	1,684	979	578	—	3,241
相互貸借	1,516	931	1,091	—	3,538
合計	23,003	21,684	35,554	481,382	561,623

※ 「搬送・返却待ち」は図書・雑誌・AV含む

※ 受付処理館で集計

※ 相互貸借数は、館内閲覧分及び利用者キャンセル分も含む

※ 6月7日まで予約の新規受付停止。令和2年3月2日から6月14日まで臨時休館のため、窓口、館内OPACの受付なし

3. 相互貸借件数

(1) 借受分（他の公共図書館から武蔵野市への借用分）

単位：冊

	中央	吉祥寺	プレイス	合計
他市区図書館	938	547	617	2,102
都立図書館	536	339	452	1,327
国会図書館	29	12	21	62
その他図書館	13	33	1	47
合計	1,516	931	1,091	3,538

※その他図書館：都外公立図書館、大学図書館等

(2) 貸出分（武蔵野市から他の公共図書館への貸出数）

単位：冊

	中央	吉祥寺	プレイス	合計
都内公立図書館	2,959	408	848	4,215
都外公立図書館	14	0	0	14
合計	2,973	408	848	4,229

4. 人気ランキング（令和2年4月～令和3年3月の貸出回数）

一般図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	かがみの孤城	辻村 深月	ポプラ社	463
2	蜜蜂と遠雷	恩田 陸	幻冬舎	361
3	魔力の胎動	東野 圭吾	KADOKAWA	313
4	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	文藝春秋	309
5	希望の糸	東野 圭吾	講談社	284
6	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ	新潮社	273
7	ライオンのおやつ	小川 糸	ポプラ社	250
8	罪の声	塩田 武士	講談社	233
9	すぐ死ぬんだから	内館 牧子	講談社	231
10	むらさきのスカートの女	今村 夏子	朝日新聞出版	229
11	コンビニ人間	村田 沙耶香	文藝春秋	225
12	ある男	平野 啓一郎	文藝春秋	221
12	沈黙のパレード	東野 圭吾	文藝春秋	221
14	祝祭と予感	恩田 陸	幻冬舎	220
15	落日	湊 かなえ	角川春樹事務所	209
16	嫌われる勇気	岸見 一郎、古賀 史健	ダイヤモンド社	207
16	ノーサイド・ゲーム	池井戸 潤	ダイヤモンド社	207
18	ノースライト	横山 秀夫	新潮社	205
18	82年生まれ、キム・ジョン	チョ ナムジュ	筑摩書房	205
20	流浪の月	凧良 ゆう	東京創元社	199
20	マスカレード・ナイト	東野 圭吾	集英社	199

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

ヤングアダルト図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	かがみの孤城	辻村 深月	ポプラ社	463
2	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	文藝春秋	309
3	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディ みかこ	新潮社	273
4	鹿の王 上・下	上橋 菜穂子	KADOKAWA	125
5	本と鍵の季節	米澤 穂信	集英社	119
6	鹿の王 水底の橋	上橋 菜穂子	KADOKAWA	110
7	線は、僕を描く	砥上 裕将	講談社	108
7	羊と鋼の森	宮下 奈都	文藝春秋	108
9	あるかしら書店	ヨシタケ シンスケ	ポプラ社	107
10	夜と霧 新版	ヴィクトール・E. フランクル	みすず書房	97
11	君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	マガジンハウス	94
12	名探偵コナン 1～98	青山 剛昌	小学館	86
13	鬼滅の刃 (小説) 1～3	吾峠 呼世晴、矢島 綾	集英社	84
14	東大教授がおしえるやばい日本史ー歴史 ってすごいばかりじゃたのしくないー	本郷 和人	ダイヤモンド社	79
14	父が娘に語る美しく、深く、壮大で、 とんでもなくわかりやすい経済の話。	ヤニス・バルファキス	ダイヤモンド社	79
14	か「」く「」し「」ご「」と「	住野 よる	新潮社	79
17	「読む力」と「地頭力」がいききに身につく 東大読書	西岡 壱誠	東洋経済新報社	77
18	幸福な食卓	瀬尾 まいこ	講談社	75
19	一度読んだら絶対に忘れない日本史の 教科書ー公立高校教師 YouTuber が書いたー	山崎 圭一	SB クリエイティ ブ	74
19	“ハリー・ポッター” シリーズ (14 冊)	J. K. ローリング	静山社	74

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

児童図書ベスト20

単位：回

	書名	著者	出版社	回数
1	ぐりとぐら	中川 李枝子	福音館書店	336
2	だるまさんが	かがくい ひろし	ブロンズ新社	294
3	11ぴきのねこ	馬場 のぼる	こぐま社	274
4	でんしゃでいこうでんしゃでかえろう	間瀬 なおかた	ひさかたチャイルド	272
5	はらぺこあおむし (改訂)	エリック=カール	偕成社	270
6	パンどうぞ	彦坂 有紀、もりと いずみ	講談社	269
7	わたしのワンピース	にしまき かやこ	こぐま社	265
8	だるまさんと	かがくい ひろし	ブロンズ新社	261
9	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	254
10	くっついた	三浦 太郎	こぐま社	251
11	つんっ!	新井 洋行	ほるぷ出版	250
12	がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん	安西 水丸	福音館書店	248
12	ケーキやけました	彦坂 有紀、もりと いずみ	講談社	248
12	もこもこもこ	谷川 俊太郎	文研出版	248
15	くだものぼくっ	彦坂 有紀	講談社	247
16	だるまさんの	かがくい ひろし	ブロンズ新社	246
17	あーん、して	スギヤマ カナヨ	アリス館	243
17	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	福音館書店	243
17	スープになりました	彦坂 有紀、もりと いずみ	講談社	243
17	どろんこハリー	ジーン・ジオン	福音館書店	243

※ 多数巻の本については、貸出回数が最も多い巻の回数

■ 新聞・雑誌

新聞・雑誌は、その時代の社会状況を最もよく映している資料として、発行直後はもとより、月日がたってからも多く利用されます。そこで、武蔵野市では利用頻度の多い資料及び所蔵する価値の高い資料等を3館で分担し、永久保存するものから短期間で廃棄するものまで分類して保存しています。

1. 新聞・雑誌所蔵タイトル数

種別	中央	吉祥寺	プレイス	全館
新聞	46 (12)	26 (2)	40 (9)	57 (17)
雑誌	466 (30)	217 (2)	628 (23)	835 (43)

※ () は外国語の新聞・雑誌のタイトル数

※ 新聞には、官報、東京都公報を含む

2. 官報・新聞縮刷版等

資料名	刊別	所蔵館及び保存年		
		中央	吉祥寺	プレイス
官報	日刊	10年	3か月	1年
東京都公報	日刊	10年	3か月	1年
朝日新聞縮刷版	月刊	1958 (昭和 33) . 1 ~ ※2	1年	3年
日本経済新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和 56) . 1 ~	1年	2年
毎日新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和 56) . 1 ~	1年	2年
読売新聞縮刷版	月刊	1981 (昭和 56) . 1 ~	1年	2年
朝日新聞武蔵野版※1	日刊	1994 (平成 6) . 1 ~	—	—
産経新聞武蔵野版※1	日刊	1957. 1 ~1974. 12 (昭和 32~49) 1993 (平成 5) . 1 ~	—	—
東京新聞武蔵野版※1	日刊	1993 (平成 5) . 1 ~	—	—
毎日新聞武蔵野版※1	日刊	1966. 1 ~1975. 12 (昭和 42~50) 1993 (平成 5) . 1 ~	—	—
読売新聞武蔵野版※1	日刊	1970. 1 ~1975. 12 (昭和 45~50) 1993 (平成 5) . 1 ~	—	—
朝日新聞復刻版	—	1888. 7 ~1957. 12 (明治 21~昭和 32)	—	—

※1 「武蔵野版」：各新聞の武蔵野版のみを切り取り、製本したもの

※2 1959 (昭和 34) . 5 欠号

■郷土・行政資料

武蔵野市に関する郷土・行政資料は、市立図書館が責任を持つべき資料として、積極的に収集、保存しています。

1. 資料の主な種類

- (1) 参考図書 [郷土・行政資料目録等]
- (2) 地域情報資料 [ガイドブック、地図等]
- (3) 自治体資料 [予算・決算書、議会議事録、例規類集、広報、統計、調査報告等]
- (4) 歴史・民俗資料 [地方史、祭礼等]
- (5) 雑誌 [タウン誌、地方誌、郷土研究誌等]

2. 分類

M	別置記号 (MUSASHINOの頭文字)	
(例) A 1	主題分類 (英字1字・数字1字)	: 三郷研 (※) 分類に準拠
(例) 0 0	地理区分 (数字2字) *武蔵野市は10	: 三郷研地理区分に準拠

※三多摩郷土資料研究会 (現「三多摩地域資料研究会」)

3. 年間受入・除籍資料冊数

単位：冊

	受入冊数	除籍・仮除籍冊数	資料数
中央	1,056	4,441	23,753
吉祥寺	255	194	1,215
プレイス	311	84	3,029
合計	1,622	4,719	27,997

4. 定点撮影

武蔵野市の景観の移り変わりを郷土写真資料として記録、保存するため、平成4年度から市内の定められた地点を定期的に撮影しています。平成18年度から、資料のデジタル化を進め、平成4年度～19年度はCD-R、平成20年度からDVD-Rにて作成、管理しています。

撮影箇所 (令和2年度現在)

撮影地点	箇所	撮影年度
①道路交差点1、駅前広場、商店街、公園、踏切、橋、公衆浴場、その他	98 箇所	隔年
②畑、果樹園、栗林、雑木林、竹林、梅林、道路交差点2、並木道、銘木	0 箇所	隔年
公園①	0 箇所	4年に1回※
公園②	0 箇所	4年に1回※

※ 新設公園については、設置年度に撮影する

5. 市民文庫

中央図書館では、市内在住の方が著して図書館が寄贈を受けた図書を、「市民文庫」として受け入れています。

■市史編纂

1. 武蔵野市史

昭和 37 年に武蔵野市史編纂委員会が発足し、昭和 40 年に『武蔵野市史資料編』、昭和 43 年に『武蔵野市史続資料編一』、昭和 45 年に『武蔵野市史』を刊行しました。その後、委員会は解散しましたが、図書館内に置かれた「市史編纂室」で引き続き資料整理が行われ、専門家への委託により『続資料編』の刊行が継続されました。市史の刊行は、平成 24 年『続資料編十三』の刊行をもって終了しました。これらの刊行物は、図書館資料として広く一般利用に供するほか、有償刊行物として、各図書館、市役所西棟 7 階市政資料コーナーで提供しています。

市史編纂室が編纂した市史の刊行年及び内容等

	書名	刊行年	内容	価格
1	武蔵野市史資料編	昭和 40 年		2,200
2	武蔵野市続資料編 一	昭和 43 年	武蔵野市の民俗 他	1,000
3	武蔵野市史	昭和 45 年		4,700
4	武蔵野市史 史料目録編 一	昭和 48 年	井口家文書（旧関前村）	500
5	武蔵野市史 史料目録編 二	昭和 49 年	河田家（旧吉祥寺村）、井野家（旧西窪村）、平野家（旧境新田）、後藤家（旧境村）、延命寺（旧関前村）の各文書に基づく	750
6	武蔵野市史続資料編 二	昭和 59 年	河田家文書（旧吉祥寺村） 一	4,400
7	武蔵野市史続資料編 三	昭和 61 年	河田家文書（旧吉祥寺村） 二	4,400
8	武蔵野市史続資料編 四	昭和 62 年	井口家文書（旧関前村） 一	4,400
9	武蔵野市史続資料編 五	平成元年	井口家文書（旧関前村） 二	4,400
10	武蔵野市史続資料編 六	平成 3 年	井口家文書（旧関前村） 三	4,400
11	武蔵野市史続資料編 七	平成 5 年	井口家文書（旧関前村） 四	4,400
12	武蔵野市史続資料編 八	平成 6 年	井口家文書（旧関前村） 五	4,500
13	武蔵野市史 史料目録編 三	平成 11 年	境・秋本家文書	3,500
14	武蔵野市史続資料編 九	平成 14 年	諸家文書 一	4,500
15	武蔵野市史続資料編 十	平成 17 年	境・秋本家文書 一	4,500
16	武蔵野市史続資料編 十一	平成 19 年	境・秋本家文書 二	4,500
17	武蔵野市史続資料編 十二	平成 22 年	境・秋本家文書 三	4,500
18	武蔵野市史続資料編 十三	平成 24 年	境・秋本家文書 四	4,500

2. 子ども武蔵野市史

『子ども武蔵野市史』は、小学校高学年から中学生、および入門者を対象とした資料で、原始、古代から現代までの武蔵野市の歴史をわかりやすく紹介しています。平成 19 年度から 3 年間をかけて執筆され、平成 21 年度（平成 22 年 3 月）に刊行されました。図書館資料として広く一般利用に供するほか、有償刊行物としての提供も行っています。

『子ども武蔵野市史』の内容等

井上 孝著 平成 22 年刊 原始・古代～現代史、年中行事 価格 500 円

■ AVサービス

AV資料（視聴覚資料）は中央図書館でCD、ビデオ、DVDを所蔵しています。平成17年11月から予約を開始し、全館で貸出を行っています。平成23年1月から、DVDの貸出を開始しました。

貸出点数はCD1人2タイトル、ビデオ・DVD1人2タイトル、合計4タイトルまでです。貸出期間はそれぞれ2週間となっています。

中央図書館には、CD、DVDの館内視聴ブースがあります。館内視聴は、1人1日1回に限り、当日1階メインカウンターで受け付けます。

1. 資料所蔵数

単位：点

種別	中央
CD	11,845
ビデオ	2,231
DVD	3,550

2. 貸出件数

単位：件

中央	吉祥寺	プレイス	合計
27,543	4,727	5,403	37,673

3. 視聴用デッキ所有数

単位：台

種別	中央
CD・DVD共用	6

4. AVブース利用状況

単位：件

種別	中央
CD	0
DVD	0
合計	0

※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月2日から利用を中止しています。

■ 児童サービス

子どもと本により良い結びつきを作り出すことを目的に、様々な児童サービスを行っています。

1. こどもまつり(令和2年度は、「こどもまつりミニ」として開催)

様々な行事を行うことで、子どもたちに図書館が「新しい発見ができる、知的好奇心を刺激するところ」であることをアピールし、また図書館利用を促進させることを目的に、平成元年度から開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業規模を縮小し、各館1日、科学遊びのみで開催しました。

場 所 中央・吉祥寺・プレイス

開催日時 下記の表のとおり

対 象 小学生

中央図書館

単位：人

8月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
8(土)	科学遊び「紫外線ってなんだろう～UVチェックストラップをつくろう～」	午前10時30分／小学生／10人	10		10
8(土)	科学遊び「LEDでじっけん！～きれいな光のランプをつくろう～」	午後2時／小学生／10人	9		9
合 計			19		19

吉祥寺図書館

単位：人

8月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
11(火)	科学遊び「酸とアルカリであそぼう～おふろのシュワちゃんをつくろう～」	午前10時30分／小学生／10人	10		10
11(火)	科学遊び「結晶って○○でしょう～結晶をそだてよう～」	午後2時／小学生／10人	10		10
合 計			20		20

武蔵野プレイス

単位：人

8月	行事内容	時間／対象／定員	子ども	大人	小計
14(金)	科学遊び「宇宙ってどんなところ？～月齢早見盤をつくろう～」	午前10時30分／小学生／10人	10		10
14(金)	科学遊び「煮干しの解剖とチリメンモンスターをさがせ！～生物多様性ってなに？～」	午前2時／小学生／10人	10		10
合 計			20		20

単位：人

	子ども	大人	合計
3館合計	59		59

2. どっきんどようび

普段は、図書館に来ない子どもたちにも、図書館に親しんでもらい、本に関連した楽しい催しを行うことで、図書の利用促進を図っています。

場 所 中央・吉祥寺・プレイス

日 時 中 央：偶数月 第2土曜日、午後2時30分から

吉 祥 寺：7・11・3月 第2土曜日、午後2時から

プレイス：5・9・1月 第2土曜日、午後2時30分から

10月から「どっきんどようび」を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数、実施時間等を縮小して行うこととしました。

中央図書館

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
4		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
6		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
8		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
10	映画会	「うっかりペネロペ」より5話	30	6	5	11
12	映画会	「ころわんのおはなし」より2話	30	7	7	14
2	イラスト教室	「戦国ベースボールのイラストレータートリバタケハルノブさんにイラストを学ぼう」 (講師 トリバタケハルノブ氏)	10	9		9
合 計				22	12	34

吉祥寺図書館

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
7		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
11	工作教室	「松ぼっくりでワンちゃんを作ろう」 (講師 つだなおこ氏)	10	9		9
3	動画配信	絵本読み聞かせ人形劇「どんくまさんはゆうびんやさん」ほか(公演 山田はるか氏ほか)				
合 計				9		9

武蔵野プレイス

単位：人

月	内容		定員	子ども	大人	小計
5		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
9		新型コロナウイルス感染症対策のため中止				
1	工作教室	「雪の万華鏡をつくろう！」 (講師 大滝玲子氏)	10	8		8
合 計				8		8

※1月は、第2土曜日ではなく、第4土曜日に実施しました。

単位：人

	子ども	大人	合計
3館合計	39	12	51

3. おはなし会

絵本の読み聞かせや簡単な工作を通じて、子どもたちに本の楽しさを知ってもらい、図書館に親しみをもってもらうため開催しています。

場 所	中央・吉祥寺・プレイス
日 時	中央：毎週水曜日（第1水曜日は館内整理日のため実施せず） 午後3時より 吉祥寺：毎週金曜日 午後3時から プレイス：毎週金曜日 午後3時30分から
対 象	幼児、小学校低学年
内 容	紙芝居・絵本等の読み聞かせ・語り・工作・折り紙

実施回数及び参加人数

	回数(回)	参加人数(人)		
		子ども	大人	合計
中央	23	127	96	223
吉祥寺	28	102	81	183
プレイス	28	141	113	254
合計	—	370	290	660

- ※ 中央図書館の第4水曜日、吉祥寺図書館の第4金曜日と武蔵野プレイスの第2金曜日のおはなし会は、市内ボランティア「おはなし語ろう会」の協力により実施しています。
- ※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月から8月までのおはなし会は中止とし、9月から再開しました。再開にあたっては、参加人数・実施時間を制限して行うこととしました。
- ※ 武蔵野プレイスにおいて、プレイス建物前の、境南ふれあい広場公園にて、毎年「青空おはなし会」を実施しています。通常のおはなし会とは異なり、青空のもとで絵本の読み聞かせを行い、通常のおはなし会への呼び水とすることを目的としています。
10月11日（日）午後3時30分から、20分間実施し、24人（うち子ども14人）の参加者がありました。（前日雨天のため1階ギャラリーで実施）

4. 吉祥寺図書館 こども向けイベント

「きちとしょ」オリジナルキャラクターをさがそう！

令和2年2月24日に開催した、「森画伯と“きちとしょ”オリジナルキャラクターをつくろう」という体験型ワークショップで参加者が作成したキャラクターを図書館内に展示し、探してもらうイベントを開催しました。

場 所	吉祥寺図書館
日 時	12月12日（土）～28日（月）開館時間中
対 象	幼児・小学生・中学生
参加人数	51人

5. 武蔵野プレイス 春休み児童向けイベント

「本といっしょにこども哲学 きみの“？”はみんなの“？”」

令和2年3月26日に予定し、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった内容を、一部変更して今年度実施しました。

場 所	武蔵野プレイス フォーラムおよびオンライン
日 時	① 3月21日(日) 午前10時30分～11時30分 ② 3月21日(日) 午後2時～3時30分
講 師	特定非営利活動法人こども哲学・おとな哲学アーダコーダ
内 容	事前に同じ本を読み、その本を題材に哲学対話をする。 ① 『いろいろへんないろのはじまり』 ② 『ポリぶくろ、1まい、すてた』
対 象	①小学生1～2年生 ②小学校3～6年生
参加人数	①6人(全員オンライン参加) ②5人(会場参加 1人、オンライン参加 4人)

6. 児童用配布物

(1) 『しおりちゃん』『ぶっくまーく』

それぞれ幼児・小学校低学年、小学校高学年を対象にした本の紹介小冊子で、年3回発行し、それに合わせて、各館で紹介した本の展示も行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の休館により春の展示が短くなったため、本来の春の展示を9月まで延長し、夏の展示を秋に変更し、都合4回の展示を実施しました。

令和2年度テーマ：「本で知ろう世界の国々」「いろいろ色の本」「うしの本」「野菜の本」

(2) ブックリスト『赤ちゃんといっしょに絵本を』『絵本で広がる楽しい世界』

乳幼児向け図書の紹介リストで、それぞれ0～2歳児向け、3～5歳児向けに作成しています。

(3) 『いちねんせいにすすめるほん』

小学校1年生に向けて、図書館の案内とおすすめの本の紹介をし、図書館へ出かけるきっかけになるように、市立小学校1年生に配布しています。

(4) 『図書館のおすすめ本 小学校4・5・6年生用』

中高学年向けに、夏休みの読書の参考にしてもらうため、図書館のおすすめ本のリストを配布しています。

7. むさしのブックスタート

「赤ちゃんと一緒に絵本で楽しい時間を共有してほしい」という願いから、平成14年度に開始しました。0歳児に対して実施するとともに、絵本とのかかわりが継続し一層充実するように3歳児に対しても行っています。年間参加者は、ブックスタート2,084組、乳幼児向けおはなし会、講演会等は845人に上っています。

また平成29年度から、3～4か月児対象のブックスタートに、市民ボランティアの導入を開始しましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアの参加は中止しました。

(1) ブックスタート

① 3～4か月児対象のブックスタート

場 所 保健センター (中央図書館隣)

内 容 3～4か月児健康診査(健診)の参加者に対して、図書館員が保護者へ個別に

メッセージを伝え、ブックスタートパック（絵本、アドバイス集、ブックリスト、図書館案内等）を手渡しています。

対 象 令和2年4月以降に誕生した市民及びその保護者

実 施 数 799組（健診対象者数1,056人）

*令和2年度は、保健センターにおける健診が中止となり、個別に病院での健診となったため、事前に対象者に送付したブックスタート引換券を図書館に持参していただき、館内での配布となりました。

②3歳児対象のフォローアップ

場 所 保健センター（中央図書館隣）

内 容 3歳児健康診査（健診）の集団指導の時に、図書館員が子どもに向けて絵本の読み聞かせをした後、保護者に向けてメッセージを伝え、絵本とブックリストを手渡していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、絵本の読み聞かせは行いませんでした。

対 象 令和2年4月以降に3歳になる市民及びその保護者

回 数 41回（新型コロナウイルス感染症対策のため、通常の3歳児健診のほかに0歳児の健診日を3歳時健診に変更して実施）

実 施 数 1,318組（うち館内配布1組）（健診対象者数1,173人）

*令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、読み聞かせは行いませんでした。

(2) 乳幼児向けおはなし会

ブックスタートのフォロー事業の一つとして専門家に依頼し、平成14年度に開始しました。家庭における乳幼児との楽しいひとときの過ごし方の参考にしてもらい、ブックスタートのメッセージをより深く浸透させることを目的としています。

場 所 市内各図書館

対 象 乳幼児及びその保護者

実施日数及び参加人数

	日数	参加人数(人)		
		子ども	大人	合計
中央	20	154	142	296
吉祥寺	13	59	59	118
プレイス	13	207	205	412
合計	—	420	406	826

※新型コロナウイルス感染症対策のため、4月から7月までのおはなし会は中止となり、9月から再開しました。（8月には例年、乳幼児向けおはなし会は行っていません）再開にあたっては、参加人数・実施時間を制限して行うこととしました。

(3) 講演会等

乳幼児の読書および絵本の専門家を招き、講演会等を開催しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、毎年春に行う講演会を中止し、2月に人形劇を規模を縮小して行いました。

- ① 人形劇 「3びきのこぶた」
- 場 所 中央図書館 3階視聴覚ホール
- 日 時 3月14日(日) 午後2時30分～3時10分
- 公 演 人形劇団 オフィスやまいも
- 参加人数 19人(大人9人 子ども10人)

8. 除籍資料のリサイクル

蔵書点検等で除籍した児童書を年1回、市内の保育園、学童保育所、学校図書館等に配布し、再活用しています。

実績 単位：冊

	実施日	配布冊数
中央	3月8日～9日	1,276
吉祥寺	2月22日	351
プレイス	2月22日	446
合計	—	2,073

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申し込み制により、人数・時間の制限を設けて実施しました。

9. 季節のテーマ展示等

普段は書庫に入っている本や、なかなか手にとられない本を、季節ごとにテーマを決め各館の児童コーナーに展示し、本の利用を促進しています。

(1) 『しおりちゃん』『ぶっくまーく』の展示

児童用配布物として作成している『しおりちゃん』『ぶっくまーく』に紹介している本を各館で展示しています。年3回の学校の長期休みに合わせて発行、展示をしています。

(2) 「子ども読書の日の本」の展示

平成13年に制定された「子ども読書の日」の記念イベントとして、書籍や図書館のことを知ってもらうという目的で、書籍や図書館に関する本の展示、貸出を行っています。令和2年度は、下記の内容で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：4月13日(月)～5月17日(日)

展示冊数：各館 266冊

(3) 「市内公立小学校の先生がすすめる夏休みの本」の展示

例年武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部推薦の夏休みに子どもたちにすすめる本の展示、貸出を行っていますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、小学校の休校が続いたため、研究会での推薦図書の会議などを開催することができず、展示は中止となりました。

(4) 「戦争と平和の本」の展示

8月15日の終戦記念日がある8月に、戦争と平和を考えるための本を紹介しています。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：8月3日(月)～8月31日(月)

展示冊数：各館 200 冊

(5) 「いちねんせいにすすめるほん」の展示

小学校1年生の子どもたちに、図書館の案内とおすすめの本を紹介した冊子「いちねんせいにすすめるほん」を作成し、その冊子で紹介された本を展示し、1年生に読書の楽しみを伝えました。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：10月26日(月)～11月30日(月)

展示冊数：各館 34 冊

(6) 「クリスマスの本」の展示

クリスマスの時期に、絵本や読み物からもクリスマスの雰囲気を楽しんでもらえるように本を展示し、クリスマスの本を紹介したリーフレットを配布しています。

場 所：中央・吉祥寺・プレイス

展示期間：11月16日(月)～12月24日(木)

(吉祥寺図書館・武蔵野プレイスは12月25日まで)

展示冊数：各館 約 700 冊

(7) 「おいしいぶどう すっぱいレモン」展

吉祥寺美術館で開催された展覧会「ぶどうとレモン」展に連動して、図書館所蔵の彦坂木版工房の著作を展示するとともに、吉祥寺美術館と彦坂木版工房の子ども向け動画ワークショップ「『おいしいぶどう すっぱいレモン』よーくみてから、かいてみよう！」に応募のあった作品の展示を行いました。

場 所：プレイス 展示期間：1月12日(火)～2月2日(火)

場 所：吉祥寺 展示期間：2月8日(月)～28日(日)

(8) 「安野光雅さん追悼本」の展示

12月24日に94歳で亡くなった安野光雅氏は、昭和30年代武蔵野市立第四小学校で図画工作の教師として勤務していました。安野氏の功績を顧みるとともに、今も色あせない安野氏の絵本を広く手にとってもらえるよう、展示を行いました。

場 所：中央

展示期間：1月20日(水)～2月21日(日)

展示冊数：51 冊

(9) 「あの日から10年」3・11関連本の展示

平成23年3月11日の東日本大震災から10年が経過しました。震災を顧み、防災意識を再確認するため、東日本大震災をテーマにした読み物や絵本、防災関連の本の展示を行いました。

場 所：中央

展示期間：3月8日(月)～31日(水)

展示冊数：97 冊

*そのほかに、中央図書館では、常時四季折々の本を児童カウンターに展示しています。

10. 配慮を必要とする子どもへのサービス

平成24年5月から、みどりのこども館ウィズ、平成26年7月から、障害者福祉センター内の

千川さくらっこクラブにおいて、障害をもつなどの理由で、図書館に来館することが難しい子どもたちとその保護者を対象に、出張おはなし会と本の貸出を実施しています。みどりのこども館ウィズでは月1回、千川さくらっこクラブでは不定期に実施しています。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施しませんでした。図書館見学会も随時実施しています。

おはなし会

場所	回数	参加人数(人)			貸出冊数(冊)
		子ども	大人	合計	
みどりのこども館	9	155	77	232	102
千川さくらっこクラブ	0	0	0	0	0
合計	9	155	77	232	102

■ Y A (ヤングアダルト) サービス

各図書館には、主に中学生・高校生を対象にした本を集めたY Aコーナーを設置しています。図書を貸し出すだけでなく、図書館に一層親しみをもってもらうために、様々な取組みを行っています。

1. 図書展示

中学生・高校生に対して読書のきっかけ作りや、選書の一助となるような図書の展示を行いました。

中央図書館

(1) 『武蔵野市子ども図書館文芸賞』

場 所	中央図書館 1階Y Aトピックスコーナー
期 間	8月6日(木)～10月1日(木)
内 容	「図書館のおすすめ本 小学校4・5・6年生用 2020年版」 展示冊数 47冊 「図書館のおすすめ本 中学生用 2020年版」 展示冊数 71冊

(2) 『Do it yourself～こんな今だし、自分でやってみる?～』

場 所	中央図書館 1階Y Aトピックスコーナー
期 間	10月8日(木)～12月1日(火)
内 容	新型コロナウイルス感染症の影響により積極的に外出することが難しい状況が続いている中で、「家の中で自分でできること」をテーマに、手芸や料理、創作などに関する本を展示しました。 展示冊数 92冊

吉祥寺図書館

(1) 『謎解きのカタルシス ミステリー・クイズの世界』

場 所	吉祥寺図書館 2階ティーンズコーナー展示棚
期 間	10月8日(木)～11月3日(火)
内 容	Y A世代にも人気の「謎解き」をテーマに、推理小説やパズル・クイズに関する資料を展示しました。 展示冊数 69冊

(2) 『青少年が選んだ★わたしたちのおすすめ本』

場 所	吉祥寺図書館 1階きちとしょトピック展示棚
期 間	12月12日(土)～12月27日(日)
内 容	11月に実施した青少年対象イベント『ティーン限定★図書館ツアー』で参加者が選書した資料と手書きPOPカードを展示しました。 展示冊数 30冊

(3) 『自分らしく、生きる』

場 所	吉祥寺図書館 2階ティーンズコーナー展示棚
期 間	3月4日(木)～4月6日(火)

内 容 進級や進学を控えた時期に、自身が持っている価値観や自分らしい生き方についてあらためて考えるきっかけとなるよう、「生き方・考え方」をテーマに幅広く本を展示しました。
展示冊数 77 冊

武蔵野プレイス

(1) 『まんが いいね!』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階ティーンズライブラリー内
期 間 7月16日(木)～9月1日(火)
内 容 手に取りやすく短時間で読めるまんが・コミックエッセイを中心とした本を展示しました。
展示冊数 48 冊

(2) 『なんかもう嫌んなっちゃったら、こんな本どうでしょう』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ内ティーンズライブラリー側壁面
期 間 9月3日(木)～11月3日(火)
内 容 新型コロナウイルス感染症の拡大や新学期スタートによる生活様式の変更に伴い不安定な日々を過ごす中で、青少年の不安をやわらげるようなテーマを設定し、心の安定や平穏を保つためのアシストができるような本を展示しました。
展示冊数 52 冊

(3) 『冬を少しずつ楽しむ本』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階クラフトスタジオ横ステンレス壁面
期 間 12月3日(木)～12月25日(金)
内 容 勉強の合間に手にとっても集中力の妨げとならず、落ち着いた雰囲気や居心地のよさを感じてもらえるような本や、少しでもクリスマスを感じられる本などを幅広く収集し展示しました。
展示冊数 76 冊

(4) 『DON'T THINK. FEEL! 読むことだけが読書じゃない』

場 所 武蔵野プレイス 地下2階スタジオラウンジ内ティーンズライブラリー側壁面
期 間 2月4日(木)～4月6日(火)
内 容 絵や写真、言葉に心動かされることもまた読書の楽しみであると考え、ふと手に取りたくなるような装丁の本や、絵や写真が印象的な本を展示しました。
展示冊数 50 冊

2. YA世代向けイベント

(1) 『ティーン限定★図書館ツアー』

場 所 吉祥寺図書館 2階まなびとつどいのへや
日 時 11月1、15、29日(日) 午後1時～3時
対 象 図書館ツアー：12～18歳の中学生・高校生
展示：12月12日(土)～12月27日(日)

内 容 図書館のバックヤード見学と司書の仕事に関するミニ講座、展示企画の体験活動を行いました。体験活動で参加者が選書した資料と手書きPOPカードは、12月に実際に館内で展示しました。

定 員 各日4人(先着順)

参加者数 各日4人、3日間合計12人

(2) 『ティーンズ1dayワークショップ ちょこっと司書体験』

場 所 武蔵野プレイス 1階ギャラリー

日 時 3月20日(土) 午後3時～4時

対 象 中学生以上の青少年(20歳になった年の年度末までの方)

内 容 図書館職員が講師となり、青少年とコミュニケーションをとりながら司書の仕事を紹介し、本の装備や修理の体験をしました。

定 員 8人(先着順)

参加者数 8人

3. 図書ラボ(武蔵野プレイス)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う地下2階スタジオリウンジ運用方法変更により、実施しませんでした。

4. 配布物

『図書館のおすすめ本 中学生用』

中学生向けに、夏休みの読書の参考にしてもらうため、図書館のおすすめ本のリストを配布しています。

■ 読書の動機づけ指導

「読書の動機づけ指導」（略称「読書指導」）は、昭和 42 年、子どもたちに読書の楽しさを伝えることを目的に開始されました。以来 50 年以上、学校（学校教育）と、図書館（生涯学習）そして講師が連携する特色ある事業として続いています。平成 14 年には、文部科学大臣賞を受賞しました。また、平成 29 年度に 50 周年を迎え、記念事業や記念誌の発行を行いました。

1. 概 要

時 期 5月中旬から6月中旬
場 所 市立小学校（12校）
対 象 市立小学校3年生
内 容 毎年度、講師、学校側代表、図書館職員からなる「図書選定部会」において新刊書を中心に 30 数冊の本を選定します。当日は、講師と図書館職員が学校を訪問し、学校図書室等を会場に読書指導を行います。図書館職員による図書館紹介の後に、講師がブックトーク、読み聞かせ等を織り交ぜつつ本の紹介をします。使った本はその場でクラスに贈られ、その後、参観の保護者の方々との質疑応答や読書相談などを行っています。

講 師（50音順）

長田 道子 氏（元小学校教諭・紙芝居文化の会会員・日本子どもの本研究会会員）
栗原 トシ子 氏（元小学校教諭）
鈴木 浩子 氏（元小学校教諭・日本子どもの本研究会会員）
濱野 美保子 氏（元小学校教諭・日本子どもの本研究会会員）
増本 裕江 氏（科学読物研究会会員・日本子どもの本研究会会員）
松木 やす子 氏（国分寺市立第九小学校学校運営協議会（学校評議委員会）委員）

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校を訪問しての読書の動機づけ指導を行うことができませんでした。そのため、選定された本を紹介する DVD を作製し、各学校に配布しました。各学校では、これを活用しクラス単位で読書の動機づけ指導を実施しました。

■ 学校連携

市内小学校、中学校等の図書館見学、調べ学習等の受け入れや、移動教室・修学旅行・セカンドスクールの事前学習用資料、調べ学習用資料や読書活動用資料の貸出を行っています。平成 21 年度から、貸出資料の範囲の拡大や P R の充実などにより、貸出件数、冊数が年々伸びています。平成 19 年から、この 10 年間で、約 30 倍の貸出冊数となっています。

また、平成 20 年度から 21 年度まで、学校と市立図書館との連携検討委員会を設置し、今後の学校連携の拡充について検討し、報告書を作成しました。さらに、平成 22 年度からは各市立小中学校の教員と図書館員で、学校連携用図書を選書会議を開催しています。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、会議を開催せず、アンケート調査を実施し、調査を反映した選書を行いました。

施設見学も、新型コロナウイルス感染症対策のため、館内の見学を限定的に実施したほか、児童からの質問に対して書面で回答したり、オンラインの活用などで対応しました。学校への資料の貸出は、4、5 月は実施しませんでした。学校が再開した 6 月から貸出を行い、最終的に昨年度を約 2,000 冊上回る貸出数となりました。

受入館	図書館見学(引率者含)						調べ学習(学校単位)				資料の貸出			
	障害児施設(人)		小学校(人)		中学校(人)		小学校(人)		中学校(人)		小学校(冊)		中学校(冊)	
中央	—	—	1 校	124	—	—	—	—	—	—	延 181 校	6,386	延 10 校	204
吉祥寺	—	—	1 校	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
プレイス	—	—	3 校	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	5 校	227	—	—	—	—	—	—	延 181 校	6,386	延 10 校	204

※吉祥寺図書館の図書館見学については、新型コロナウイルス感染症対策のため、児童からの質問に対して、書面にて回答しました。

※プレイスの図書館見学のうち 1 校は Z o o m で対応のため人数は不明です。

■ 職場体験

市内中学生（国公立・私立を問わず、また、他市区の学校に通学する市内在住の生徒も含む）の職場体験やボランティア体験の受け入れを行っています。また、司書資格取得課程の学生の図書館実習、インターンシップの学生の実習も受け入れを行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての職場体験、ボランティア体験等の受け入れはありませんでした。

■ 子ども図書館文芸賞

子どもたちが日ごろ感じていること、思い描いたことなどを様々な方法で表現し、国語力の向上や豊かな表現能力の育成を図ることを目的に実施しています。

平成 16 年度に「読書感想作品募集事業（どっかん!）」として始まったこの賞は、平成 18 年度から小説などの創作の募集を開始し、「子ども文芸賞」として平成 27 年度まで実施してきました。さらに平成 28 年度からは、読書感想画・POP（ポップ）・本の帯の部門を新設し、「武蔵野市子ども図書館文芸賞」として再出発しました。

1. 概要

- 募集期間 7月2日（木）～10月1日（木）
- 対 象 市内在住・在学の小中学生
- 募集内容 <創作部門>
- A 小説・童話・ずい筆
- B 詩
- <読書感想作品部門>
- A 読書感想文
- B 読書感想画・POP（ポップ）・本の帯
- 審査員 山本 ふみこ 氏（随筆家、元武蔵野市教育委員）
- みなみ らんぼう 氏（シンガーソングライター）
- 山花 郁子 氏（児童文学作家）
- 山田 武雄 氏（元武蔵野市教育委員会指導室長）
- つだ なおこ 氏（イラストレーター）
- 中野 玲子 氏（子どもの本の専門店店主）
- 応募作品数 731 点（うち 10 点は規定外）

〔内 訳〕

単位：点

部門	小1～3	小4～6	中学生	合計
創作A部門(小説・童話・ずい筆)	14	10	39	63
創作B部門(詩)	11	8	188	207
読書感想A部門(読書感想文)	120	148	112	380
読書感想B部門(読書感想画・POP・帯)	1	1	69	71
規定外	1	1	8	10
合計	147	168	416	731

受賞作品数 16 点 〔内訳〕 金賞 4 点 銀賞 8 点 審査員特別賞 4 点

2. 表彰式

2月28日（日）に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止しました。代替措置として、審査員の講評を収録したDVDを作製し、受賞者に配布しました。

3. 作品集

受賞者全員、市内各小中学校及び希望者に配付。市内図書館で所蔵。

■ 子ども読書活動推進計画

平成 23 年度に『武蔵野市子ども読書活動推進計画』を策定し、様々な子ども読書に関する事業に取り組んできましたが、令和元年度末から新たに策定委員会を組織し、令和 2 年度 1 年間かけて『第 2 次武蔵野市子ども読書活動推進計画』を策定し、令和 3 年 3 月に完成しました。令和 3 年度からは、新しい計画に基づき、子どもの読書に関わる様々な取組みを進めていきます。

〈令和 2 年度の取組み〉

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館での多くの取組が、中止や延期、縮小での開催となりました。そうした中でも、感染症対策をとったうえで、おはなし会やこどもまつり、どっきんどようびなどの取組を継続して実施しました。またブックスタートは、保健センターでの健診が中止となってしまった 3～4 か月児については、チケットを配布し、最寄りの図書館に来館してもらい、実施しました。

「読書の動機づけ指導」については、学校へ訪問することができなかつたため、選定された本を紹介する様子を録画した DVD を作製し、各小学校の 3 年生のクラスに配布しました。各学校では、これを活用してクラス単位で読書の動機づけ指導を実施しました。

「子ども図書館文芸賞」は、例年どおり作品募集を行い、審査し、作品集を作成しましたが、2 回目の緊急事態宣言の発出により、表彰式を実施することができなくなり、代替措置として、審査員の講評を収録した DVD を作製し、受賞者に配布しました。

計画策定の背景

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本市は、平成23年に子ども読書活動推進計画を策定し、図書館や学校を中心に取組みを進めてきました。しかしこの間も、国の法改正や情報化社会の進展により、子どもの読書環境は変化を続けています。この変化を踏まえ、これまでの取組みを改めて整理、体系化し、関係機関が連携して本市における子どもの読書環境の整備を推進していくため、第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画を策定することとしました。

計画の位置づけと計画期間

「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づく計画であるとともに、本市の最上位計画である武蔵野市第六期長期計画と、第五次子どもプラン武蔵野、第三期武蔵野市学校教育計画、第2期武蔵野市図書館基本計画を踏まえ、令和3年度～7年度を計画期間として、子ども読書活動を推進するために取組む事業を記載するものです。



現状と課題

- 乳幼児や児童が本に親しむには、親子のコミュニケーションや実際に本に触れる、お話を聞くといった実体験が重要になります。家庭における乳幼児期の読書活動への支援の充実が必要です。
- 中学生、高校生年代の読書離れが問題となっていますが、この世代に向けては、ただ「本を読もう」と声をかける、「本を読むのはいいことだ」と強制するのではなく、彼らの興味関心に寄り添う形でアプローチし、そこから読書につなげていくことも大切です。
- 中学生では8割以上が、調べものは「ほとんどインターネットで調べる」としています。読書の大きな側面である「調べる」という行動がインターネットに移行していくなかで、今後の子どもたちに向けては、データベース利用や情報活用能力の向上など、新しい手法にあわせたアプローチが求められます。
- 学校図書館には、「読書センター」とともに「学習センター」「情報センター」機能が求められています。新聞や図鑑、事典など、小説や物語に偏らない適切な選書と蔵書の充実を図ることが必要です。
- 今後の学校図書館の学習センターや情報センターとしての役割を充実していくためには、教員との連携強化、開館時間延長への対応、適切な選書や子どもたちへの働きかけ等の推進を可能とする学校図書館サポーターの配置について検討が必要です。
- 市立図書館と各機関の1対1の関係性による連携は進んできました。しかし、子ども読書活動のさらなる推進のためには、より多くの主体が相互に情報共有し、効果的・効率的に活動していくことが必要です。
- 子どもの読書活動の推進には、保護者をはじめ、保育園・幼稚園、子育て支援施設のスタッフ、学校図書館サポーターなど、子どもと読書を橋渡ししていく人材の役割が重要になります。子どもの読書活動に関わる人材の育成支援が必要です。

基本理念

子どもたちが読書を通じて、

豊かな心を培い、自ら学ぶ力を身に付けることで、生きる力を育む

「読書」のとらえ方

絵本、昔話、文学などが物語る日常や空想の出来事に心を躍らせることに加え、個々の知的好奇心を満たすために科学読み物や図鑑、事典などから知識を得ることも広く読書ととらえる。これらの媒体は、紙の書籍に限らず、電子書籍やインターネット情報も含む。

基本方針

■ 読書習慣を身に付け、豊かな心を培う

本を読んでくれるあたたかい声に安心と喜びを感じる幼い子どもの時間、ストーリーを追いかけて次々にページをめくりワクワクする経験、本の世界から幅広い考え方を知り多感な時期に深く思考すること、いずれも子どもの成長に欠かせないものです。これらの経験から読書の喜びを知ることによって読書習慣が身に付き、それは子どもの感性を磨き、表現力と想像力を養い、その後の人生を心豊かに生きていくための財産になります。これらの経験を、年齢に応じてすべての子どもが得られるよう支援していきます。

■ 多様な読書を通じて自ら学ぶ力を身に付ける

絵本や文学の世界に心を躍らせる、あるいは大好きなジャンルの図鑑に熱中する読書がある一方で、わからない事象に出会い疑問を感じて本を開き、調べ、得た情報を活用する読書もあります。いずれも子ども時代に身に付けるべき大切な読書と言えます。子どもたちが読書の幅を広げ、様々な本と出会い、興味や関心を広げていくことで、自ら学ぶ力を身に付けられるよう支援していきます。

■ 情報を適切に読み解き、活用できる力を育む

昨今、情報は既存のメディアに加え、インターネット上に溢れ出しており、調べものの多くはインターネットを活用したものとなりつつあります。目的に応じて本やインターネットなど多様な情報媒体を使い分け、探し出した情報を適切に読み解き、活用できる力を身に付けることは、これからの子どもたちにとって必須のものとなります。子どもの年齢、発達に合わせて、この力を育めるよう支援していきます。

施策の体系と具体的な取組

施策		具体的な取組 (○継続 ◎拡充 ◇新規 ◆新規+連携 ●連携)	
1. すべての子どもの発達段階に応じた読書活動支援	(1) 乳幼児期における取組	①家庭、保護者への働きかけ、支援	<ul style="list-style-type: none"> ●むさしのブックスタート(3~4か月児、3歳児) ○むさしのブックスタート・フォローアップ事業 ◎ブックリスト等配布物の作成及び配布 ◇保護者向け読み聞かせ講座 ◇市立図書館を家族で楽しめるイベントの開催 ◇子育て支援施設への返却ポストの設置の検討
		②保育園・幼稚園・こども園等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○児童書リサイクル事業 ◇保育園、幼稚園などの団体用カードの作成 ◆保育園、0123 施設、各施設のイベントなどへの出張おはなし会や情報提供の検討 ○団体貸出の活用・見直しの検討
		①学校における読書環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●市立図書館から学校への資料の貸出 ◆児童生徒が、市立小中学校で市立図書館の本を借りられる貸出システム構築の研究 ◆学校でタブレットなどを使い図書館のHPの使い方を学ぶ出前講座 ○児童書リサイクル事業(再掲)
		②学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎蔵書の充実 ◇新聞配備の検討 ◇学校図書館を利用できる時間の充実 ○配架・装飾などの環境整備の充実
		③学校における読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書や学習活動を通じた図書に触れる機会の創出 ○ブックリストやビブリオバトルなどによる読書意欲の喚起 ●読書の動機づけ指導 ●図書館見学や調べ学習の受入れ ○学級文庫への団体貸出 ●学校と市立図書館による学校連携用図書の選書会議
		④読書活動における情報活用能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館における情報活用能力の育成 ◇市立図書館における情報活用に関する子ども向け講座の実施
	(2) 小中学生への取組(学齢期における取組)	⑤新しい発見、知的好奇心を刺激する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○としょかんこどもまつり ○どっきんどようび ○夏休み・春休みこども教室 ○子ども図書館文芸賞 ◇小学生対象の図書館体験ツアーの実施 ○中学生、高校生の職場体験学習の受入れ ◇市立図書館を家族で楽しめるイベントの開催(再掲) ○子どもたちが集まるイベントでの本の展示や貸出
		⑥日常的な読書機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○団体貸出の周知、拡大 ◎小中学校での、対象年齢にあわせたブックリスト等の配布

施策の体系と具体的な取組

施策		具体的な取組 (○継続 ◎拡充 ◇新規 ◆新規+連携 ●連携)
1. すべての子どもの発達段階に応じた読書活動支援(続き)	(3) 青少年への取組	◇青少年の読書活動の実態把握
	① 青少年の読書活動の実態把握	○青少年の興味関心にも対応できる選書 ○テーマ展示の充実、青少年参加型テーマ展示企画などの実施
	② 青少年の興味関心に対応する蔵書構成	○武蔵野プレイスのティーンズスタジオ、吉祥寺図書館のティーンズスポット ◎実体験と図書との出会いを連動させた各種ワークショップ等の実施 ◇市立図書館における情報活用に関する青少年向け講座の実施 ○子ども図書館文芸賞(再掲)
	③ 青少年の居場所づくり	◇電子書籍サービスの導入 ◇市立図書館のHPに「青少年向けページ」を整備 ◎SNSの活用
④ ICTの活用	◎●配慮を必要とする子ども向け出張おはなし会、図書館見学会 ◎デジター図書、マルチメディアデジター図書の充実、周知活動 ○大活字本、LLブックの充実、対面朗読サービス、書籍郵送サービスなどの充実	
(4) 配慮を必要とする子どもへの取組		
2 市立図書館と学校、関係機関の連携による推進	(1) 関係機関間の情報共有、連携体制の構築と強化	◎関係機関間の情報共有、連携体制の構築と強化
	(2) 市立図書館と学校、関係機関の連携推進	●むさしのブックスタート(3~4か月児、3歳児)(再掲) ◆保育園、0123、各施設イベントなどへの出張おはなし会や情報提供の検討(再掲) ●市立図書館から学校への資料の貸出(再掲) ◆児童生徒が、市立小中学校で市立図書館の本を借りられる貸出システム構築の研究(再掲) ◆学校でタブレット型パソコンなどを使い図書館のHPの使い方を学ぶ出前講座(再掲) ●読書の動機づけ指導(再掲) ●図書館見学や調べ学習の受入れ(再掲) ●学校と市立図書館による学校連携用図書の選書会議(再掲) ◎●配慮を必要とする子ども向け出張おはなし会、図書館見学会(再掲)
3 子どもの読書活動に関わる人材の育成・支援体制強化	(1) 子どもの読書にかかわる人材育成、相談支援	◎図書館の児童サービス担当職員の育成と配置 ◎家庭や関係者向けの乳幼児の読書に関する講演会や研修等の拡充 ◇保育園・幼稚園・こども園等の職員向けの講演会や研修会等の開催 ◎おはなし会やブックスタートに携わるボランティアの育成
	(2) 学校図書館の人的配置や人材育成の充実	◎学校図書館サポーターへの研修体制充実 ◇学校図書館サポーターの勤務時間確保

■ 団体貸出サービス及び文庫活動助成

個人利用者への貸出だけでなく、家庭文庫や学級文庫、学童クラブ等の団体への貸出も行っています。団体貸出用図書は一般貸出用図書とは別に所蔵しています。

また、ここ数年は、高齢者施設への貸出も進めています。

1. 蔵書数及び貸出数

	蔵書数	貸出数
一般書	6,539	670
児童書	23,395	12,903
合計	29,934	13,573

2. 団体貸出サービス

団体貸出登録数	32 団体
図書貸出期間	2 か月
貸出冊数	300 冊まで

3. 武蔵野市文庫連絡会（文庫連）事業

文庫連登録数	4 団体
定例会開催数	0 回
図書館・文庫連共催事業	0 回

(1) 春の催し

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 秋の催し

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

■ 障害者サービス

市内在住の視覚障害者、重度の肢体不自由者などの方々で図書館利用者登録の他、障害者サービスの登録をした方に以下のサービスを行っています。

音訳はボランティアグループ『武蔵野市立図書館朗読奉仕の会』、点訳は『六実会』の協力により実施しています。

平成 23 年、『武蔵野市立図書館朗読奉仕の会』は、財団法人鉄道弘済会、社会福祉法人日本盲人福祉委員会主催の第 41 回「朗読録音奉仕者感謝行事」において長年の業績が認められ、朗読録音奉仕グループ奨励賞を受賞しました。この賞は朗読録音奉仕者の養成活動実績が顕著なボランティア団体を対象に贈呈されています。

1. 登録者数

単位：人

年度	28 年度	29 年度	30 年度	元(31)年度	2 年度
登録者数	103	110	118	120	119

2. 利用者サービス

(1) 録音図書

市内在住の視覚障害者等、通常の読書が困難な方に録音図書の貸出をしています。

① 録音図書所蔵数

録音図書には、音訳ボランティアの協力により図書館で録音作成した“自館作成”と、寄贈・購入・委託により受入をした資料があり、媒体は、カセットテープと、デイジー(DAISY)(※1)の2種類があります。

また、平成 28 年 7 月からマルチメディアデイジー(※2)の貸出を開始しました。

なお、自館作成のカセットテープは、令和元年 12 月に録音製作用機器(専用のテープデッキ)が製造中止となり、部品も入手困難で修理対応ができなくなったことから作成を中止しました。

	令和2年度受入数		所蔵数	
	タイトル数	本数(枚数)	タイトル数	本数(枚数)
自館作成テープ	0	0	885	5,609
寄贈テープ	0	0	2	7
購入テープ	0	0	302	891
テープ合計	0	0	1,189	6,507
自館作成デイジー	62	62	613	614
寄贈デイジー	0	0	5	5
購入(委託)デイジー	0	0	91	94
デイジー合計	62	62	709	713
寄贈マルチメディアデイジー	4	4	509	509
購入マルチメディアデイジー	0	0	75	75
マルチメディア合計	4	4	584	584
総計	66	66	2,482	7,804

※1 DAISY規格

DAISYは「Digital Accessible Information System」の略で、カセットテープに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として普及しており、専用のツールを使って作成でき、専用機器やパソコンで再生することができます。

記録媒体の主なものはCD-ROMで、1枚に長時間の録音をすることができます。また、音質の劣化がなく、見出しやページでの検索が可能なことも大きな特徴です。

※2 マルチメディアデイジー

文章を読み上げる音声を聞きながら、画面上で絵や写真を見ることができるデジタル図書。読み上げ部分がハイライトされるため、どこを読んでいるか、どう読んだらいいのかが聴覚および視覚から理解しやすく、読み書きに困難があるお子さんの読書をサポートします。

② 録音図書貸出申込（タイトル）数

利用者は、録音図書目録や都立図書館発行の新作情報から必要なテープやデイジーを申し込み、貸出を受けることができます。武蔵野市立図書館で所蔵していない場合は、全国の所蔵する図書館から取り寄せて貸出をしています。

単位：点

	カセット	デイジー	マルチメディア デイジー	合 計
当館から利用者	11	74	0	85
当館から他公共図書館	3	234	0	237
当館から点字図書館	0	273	0	273
他公共図書館から利用者	0	116	0	116
点字図書館から利用者	0	302	0	302
合 計	14	999	0	1,013

(2) 対面朗読サービス

市内在住の視覚障害者等の方で事前に申し込みをされた方に、図書館の本・新聞・雑誌や、個人所有の資料（手紙、電気製品などの説明書等）の対面朗読を音訳ボランティアの協力により実施しています。中央図書館は3階、武蔵野プレイスは1階に対面朗読室があります。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

	中央	プレイス
利用者数(延べ)	—	—
時間(延べ)	—	—

中央図書館の対面朗読室には印刷物を自動で読み上げる機器を設置しており、事前申し込みにより、利用することができます。

(3) 書籍郵送サービス

市内在住の重度の肢体不自由者に希望の書籍の郵送貸出をしています。1度に2冊まで、貸出期間は3週間です。

年度	28年度	29年度	30年度	元(31)年度	2年度
利用者数(延べ)(人)	75	88	70	64	47
貸出冊数(冊)	84	100	76	71	47

(4) デジタル録音図書（デイジー）再生機器貸出

カセットテープやカセットテープ用の録音機やダビング機などの機器類が製造中止になり、全国的にもデジタル化が進んでいるため、登録者にデイジーを普及させる目的で再生機器の貸出を行っています。1人につき1回1台、1か月以内の貸出です。

貸出件数（延べ）0件

(5) 個人資料作成（プライベートサービス）

希望する資料を音訳または点訳します。資料と点字用紙・CD-ROM・カセットテープは利用者負担です。

音訳（継続的に作成している資料を含む） 4件

点訳（六実会が直接依頼を受けた資料を含む） 49件

(6) 情報資料の提供 音訳ボランティアの協力により実施

① 新作情報（テープ版・デイジー版）の貸出

都立中央図書館発行の「東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報」をダビングまたはコピーして、希望者に貸出、提供しています。

貸出回数：年6回

利用者数：2人（テープ版） 26人（デイジー版） 計28人

墨字版利用者：8人

② 情報資料の貸出

「朗読奉仕の会」が定期的に作成している「声の会報」「週刊誌」「新聞」などの録音資料を希望者に郵送しています。

<声の会報>

内 容：図書館からのお知らせや出版情報など（各回60分テープ1本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：年6回

利用者数：2人（テープ版） 27人（デイジー版） 計29人

<週刊誌>

内 容：「週刊文春」の記事を抜粋して音訳（各回90分テープ1本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：週1回

利用者数：2人（テープ版） 14人（デイジー版） 計16人

<新聞切り抜き帳>

内 容：「朝日」「読売」「日本経済」「産経」「毎日」「東京」各紙から音訳者が記事を選んで音訳（各回60分テープ3～4本またはCD-ROM1枚）

貸出回数：週1回

利用者数：1人（テープ版） 13人（デイジー版） 計14人

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため4月中旬から8月末まで、音訳ボランティアの活動を停止

※テープ版の貸出は、10月から停止

3. 障害者サービス利用者懇談会～おしゃべりサロン～

障害者サービスの質の向上を図るため、障害者サービス利用者（同伴者）、ボランティア団体会員、市内在住の希望者、図書館員で意見交換会を開催しています。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

4. 講座

音訳、点訳の技術の向上を目的として、協力者であるボランティア団体会員を対象に講座を開催しています。

対 象 朗読講座・初級講座：「武蔵野市立図書館朗読奉仕の会」会員 会員数 81人
点訳講座：「六実会」会員 会員数 28人

場 所 中央図書館

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

5. 障害者サービス登録を必要としないサービス

(1) 大活字本の貸出

通常の図書の約4倍の大きさの文字で書かれた大活字本の貸出をしています。

蔵書数

単位：冊

	28年度	29年度	30年度	元(31)年度	2年度
中央	2,248	2,390	2,542	2,669	2,799
吉祥寺	353	347	353	358	339
プレイス	699	680	659	643	621
合計	3,300	3,417	3,554	3,670	3,759

(2) LLブックの貸出

LLブックは「やさしく読める本」という意味です。図や写真を多く使う等、知的障害・学習障害等の方にも理解しやすい工夫がされています。中央図書館2階にコーナーを設けています。

蔵書数

単位：冊

	28年度	29年度	30年度	元(31)年度	2年度
中央	29	46	49	57	59

(3) 点字雑誌コーナー

中央図書館2階に点字雑誌コーナーを設けています。

(4) 拡大読書器の設置

中央図書館2階、武蔵野プレイス地下1階に、機器の上に置いた資料を拡大してモニターに映し出す拡大読書器を設置しています。

(5) 自動読み上げ機の設置

武蔵野プレイス地下1階に、印刷物を自動的に読み上げる機器を設置しています。

※ 中央図書館3階対面朗読室に設置の自動読み上げ機の利用は、障害者サービス登録、事前申し込みが必要です。

(6) 車いす席

車いすをご利用の方向けの席を設けています。

専用閲覧席…中央図書館2階

優先席…吉祥寺図書館1階、地下1階、武蔵野プレイス地下1階

(7) 「見て！ふれて！ためしてみよう！一日としょかんバリアフリー体験（ミニ）」

障害者用資料をより多くの人に知ってもらうこと、障害者理解を促すことを目的としたイベントを実施しました。会場では、障害者理解の本、障害者用資料（ダイジー、マルチメディアダイジー、点字の本・雑誌、LLブック等）の展示も行いました。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事業を縮小して開催しました。

日時 8月20日（木）午前11時～11時30分、午後2時30分～3時30分

場所 中央図書館3階視聴覚ホール

単位：人

時間	内容	子ども	大人	小計
午前11時～ 11時30分	マルチメディアダイジー体験上映会 『11びきのねことぶた』（10分、馬場のぼる著） 『ヘンテコはみがきこ』（10分、みやにしたつや 作・絵）	5	2	7
午後2時30分 ～3時30分	ミニ工作教室「点字用紙でカードスタンドをつくろう！」	4	0	4
合計(延べ)		9	2	11

(8) その他

①各カウンターに筆談具を設置しています。

②老眼鏡、拡大鏡、リーディングトラッカー、リーディングルーペの館内貸出をしています。

※リーディングトラッカーは、読書補助具の1つで、視覚障害のある人の読書をサポートするとともに、集中して読書をしたい人などにも便利なツールです。

③DVDのうち、視聴覚障害者対応資料については、ケースの背にシールを添付しています。

■ 一般向け催し

1. 映画会

青少年も含めた市民に名作映画等に親しむ機会を提供しています。

当日は、上映作品の原作者の著作や、監督・出演者・映画の主題に関連する資料などを紹介、貸出もしています。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、9月までは中止し、10月から毎月いずれかの図書館で映画会を行うという形で再開しました。また、定員を減らし、対象を市内在住・在勤・在学の方に変更しました。

(1) 中央図書館「土曜の午後の映画会」

日 時 毎月第4土曜日 午後2時30分から

対 象 中学生以上(市内在住・在勤・在学で図書館カードをお持ちの方)

定 員 30人(通常は90人だが、新型コロナウイルス感染症対策のため縮小)

月 日	上映作品	参加人数
4月25日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館のため中止	
5月23日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館のため中止	
6月27日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
7月25日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
8月22日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
9月26日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
10月24日	キートンのセブンチャンス	6
11月28日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
12月26日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
1月23日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
2月27日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
3月27日	足元の小宇宙	7
合計		13

(2) 吉祥寺図書館「吉祥寺図書館の映画会」

日 時 不定期

対 象 中学生以上(市内在住・在勤・在学)

定 員 20人(通常は50人だが、新型コロナウイルス感染症対策のため縮小)

月 日	上映作品	参加人数
4月10日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館のため中止	
6月12日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
8月14日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
10月9日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
12月13日	マダム・フローレンス!～夢見るふたり～	5
2月20日	コーリャ 愛のプラハ	9
合計		14

(3) 武蔵野プレイス「シネマプレイス」

①「日曜の午後の映画会」

日 時 5月・9月・1月・3月の第3日曜日 午後2時から
対 象 中学生以上
定 員 30人(通常は100人だが、新型コロナウイルス感染症対策のため縮少)

月 日	上映作品	参加人数
5月17日	新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休館のため中止	
9月20日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
1月31日	弟の夫	26
3月21日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
合計		26

②「夜の映画会」

日 時 7月・11月の第3金曜日 午後7時30分から
対 象 市内在住・在勤・在学の中学生以上
定 員 30人(通常は100人だが、新型コロナウイルス感染症対策のため縮少)

月 日	上映作品	参加人数
7月17日	新型コロナウイルス感染症対策のため中止	
11月20日	スイート・スイート・ビレッジ	19
合計		19

2. ビブリオバトル・ビギナーズ@武蔵野プレイス (武蔵野プレイス)

本を通じたコミュニケーションを促進するため、知的書評合戦ビブリオバトルを開催しました。

場 所 武蔵野プレイス 3階スペースC
日 時 11月21日(土) 午後2時～3時15分
対 象 どなたでも
内 容 ビブリオバトル公式ルールの講義後、ビブリオバトル体験を行い、
終了後は、参加者同士の交流を深めました。
講 師 五十嵐 孝浩 氏 (Biblio E⁸ht代表、ビブリオバトル普及委員会普及委員)
定 員 8人
参加者数 5人

3. データベース講習会「日本最大級の新聞検索！『ELNET』活用講座」

場 所 武蔵野プレイス 3階スペースC
日 時 3月12日(金) 午後4時～5時
講 師 林田 孝洋 氏 ((株)エレクトロニック・ライブラリー)
定 員 8人
参加者数 7人

4. 吉祥寺図書館一般向けイベント

(1) 吉祥寺アニメーション連携企画「未来の巨匠がココに！ 2020」

場 所	吉祥寺図書館 1階きちとしょトピック コーナー
日 時	2月1日(月)～2月7日(日) 午前9時30分～午後8時
対 象	どなたでも
内 容	「吉祥寺アニメーション映画祭」前年度受賞作品8本を、デジタルサイネージを使用したリピート再生で上映し、関連資料30冊も展示しました。
上映作品	「MIMI」、「ネギはからだにいい」、「I SEE YOU」、「唾巴皇帝」 「突然ですがこの動画あと10秒で終わります。」、「うめぼしパトロール」、「たいふう14ごう」、「なめとこ山」

(2) 講演会及び展示「吉祥寺かるた誕生秘話と、かるたの魔法について」

場 所	吉祥寺図書館 2階 まなびとつどいのへや
日 時	2月28日(日) 午後2時～3時
対 象	中学生以上(保護者同伴の場合は年齢制限無し)
内 容	武蔵野市立図書館の郷土資料でもある「吉祥寺かるた」の仕掛け人・制作者による「かるた」というゲームの奥深さ、楽しさを伝える講演会を開催し、参加者全員で「吉祥寺図書館かるた」の読み札を作成しました。講演前1か月は館内に「吉祥寺かるた」を展示し、利用者からも読み札を募集しました。
講 師	徳永 健 氏(株式会社クラウドボックス代表取締役社長)
定 員	15人
参加者数	10人

(3) 紙芝居口演の動画配信

日 時	3月30日から「吉祥寺図書館 YouTube チャンネル」で公開中
口 演 者	むさしの紙芝居一座
内 容	吉祥寺地域に伝わる昔話に関する紙芝居口演を動画で記録し、配信しました。
演 目	「井の頭伝説」「ふりそで火事」「武蔵野に汽車が初めて走った日」

5. トピックス

利用者の読書のヒントとして、時事的なことがらや季節にふさわしいテーマを選び、そのテーマに沿った図書を展示しています。中央図書館では年3回、吉祥寺図書館と武蔵野プレイスでも行っています。また、市役所他部課が行う業務の対策強化月間や、吉祥寺美術館の企画に合わせたミニトピックスも随時行っています。

ブックリストは図書館ホームページにて公開しています。

中央図書館

	期間	テーマ	冊数	備考
第1回	7～10月	アニバーサリーの作家たち	150	アニバーサリー作家、アイザック・アシモフ、サン・テグジュペリ、阿川弘之、三島由紀夫、長谷川町子に関する本の展示
ミニ	9月	認知症を知る月間	79	本庁で開催されるパネル展示(高齢者支援課)に伴い実施
ミニ	9月	自殺対策強化月間	80	本庁で開催されるパネル展示(障害者福祉課)に伴い実施
第2回	10月～2月	おいしい本	174	食にまつわる物語やエッセイ、文学・作家関連の料理本等を展示
ミニ	11月	女性に対する暴力をなくす運動	77	本庁等で開催されるパネル展示(市民活動推進課)に伴い、実施
ミニ	11月	戦争と平和、武蔵野の空襲	138	本庁等で開催されるパネル展示(市民活動推進課)に伴い、中島飛行機、戦争や平和をテーマにした本を展示
ミニ	12月	税	68	滞納STOP強化月間(納税課)にちなみ税関連資料を展示
第3回	2～6月	百花繚乱	200	「花」や「花の名前」がタイトルに含まれている本、作中に花が出てくる小説を展示
ミニ	2月	エンディング(終活)	73	エンディング(終活)支援事業(高齢者支援課)に伴い実施

吉祥寺図書館(きちとしょトピック)

期間	テーマ	冊数	備考
9月1日～ 9月15日	自殺対策強化月間	35	都の自殺対策強化月間に合わせ、関連資料を展示(障害者福祉課)
9月3日～ 9月29日	みんなで知ろう認知症	31	本庁で開催されるパネル展示(高齢者支援課)に伴い実施
10月1日～ 11月3日	「物語をカタチにする」展	38	吉祥寺美術館荻原英雄記念室「物語をカタチにする」展の開催に伴い実施
11月5日～ 11月30日	女性に対する暴力をなくす運動	48	本庁等で開催されるパネル展示、「女性に対する暴力撤廃国際日」(市民活動推進課)に伴い実施。
11月16日～ 11月30日	戦争と平和、武蔵野の空襲	90	本庁で開催されるパネル展示(市民活動推進課)に伴い実施
12月3日～ 12月15日	税を知る本	52	滞納STOP強化月間にちなみ税関連資料を展示

吉祥寺図書館（きちとしょテーマ展示）

期間	テーマ	冊数	備考
5月29日～	チェンジ！～いろんなものが、 変わる春～	230	令和2年3月に展示予定であったが中止 となったため、ホームページ上での紹介お よび展示資料リストを公開
7月2日～ 8月4日	『教科書』の本	154	現在の教科書に載っている現代小説や詩、 古典の本を展示
8月6日～ 9月1日	涼を愉しむ	113	『涼』をキーワードに、暑い夏を愉しく過 ごすヒントにつながる資料を展示
9月3日～ 10月6日	ここではないどこかへ	112	移住に関する資料を収集、展示
10月8日～ 11月3日	手紙 ～会えなくても離れて いても～	134	『手紙』にまつわる資料を展示
11月5日～ 12月1日	おうちゆるゆる、ご近所てくて く	133	自宅や近隣スポットで見つけられる「身近 な楽しみ」をテーマに選書
12月3日～ 12月27日	本から聴こえる音楽	107	ベートーヴェン生誕250年に合わせ、クラ シック音楽を中心にオーケストラや楽器 に関する本を集め展示
1月15日～ 3月2日	ほっこりほくほくあたたまる 本	149	1年でもっとも寒い時期に、読書を通して 心も身体もあたたまる本を展示
3月4日～ 4月6日	免疫力向上のすゝめ	154	免疫力について5つのテーマにわけて選 書し展示
3月20日～ 3月30日	きちとしょテーマ展示 (2018-2020)・読まれた本	50	これまで20回開催してきた「きちとしょ テーマ展示」のあゆみを振り返り、改めて 図書展示をPRするため実施

武蔵野プレイス（地下1階メインライブラリー）

期間	テーマ	冊数	備考
6月15日～ 9月1日	覗いてみよう 知らない世界	267	普段の生活ではなかなか巡り合えない 趣味や職業、向学心、探求心を刺激する ような本を展示
9月3日～ 11月3日	続く未来を考える	254	持続可能な開発目標（SDGs）に関連 する本を展示
11月5日～ 2月2日	地図を片手に	248	コロナ禍で、いろいろな場所、事、物に 思いを馳せることのできるような本を 展示
2月4日～ 5月5日	見直しのススメ	287	生活や常識、伝統、古典、名作等、様々 なものを改めて見直すきっかけになる ような本を展示

武蔵野プレイス（地下2階アトライブラリー）

期間	テーマ	冊数	備考
6月15日～ 3月31日	東京近郊で開催される芸術系イベントの関連図書	—	東京近郊でその時期に開催される芸術全般に関するイベントに関連した本の展示（期間中8回展示：小規模展示のため冊数カウントなし）
10月8日～ 12月1日	The Show Must Go On! ～本で楽しむ舞台芸術の魅力～	145	コロナ禍で劇場に足を運ぶことが難しい状況の中、劇場文化に対する期待感が高まっている。関連本を展示（連携：武蔵野文化事業団）

武蔵野プレイス（2階テーマライブラリー）

期間	テーマ	冊数	備考
6月15日～ 6月30日	暮らしのしたく～楽しむためにはじめよう～	61	テーマライブラリー書架から、支度、仕込み、準備をキーワードとした関連の本を展示
11月5日～ 12月27日	ふだん着のアート	173	テーマライブラリー書架から「暮らしの中のアート」をキーワードとした関連の本を展示
2月4日～ 3月30日	ヨムヨムプレイスーじっくり読む本あつめましたー	145	テーマライブラリー書架でも、じっくり読める本（エッセイ、体験記）を中心に関連の本を展示

6. 課題解決テーマ展示

中央図書館では、平成23年度から、地域や市民の抱える課題を的確に把握し、課題解決に関連する資料や情報を提供していくため、「課題解決テーマ展示」を行っています。「地域や市民生活に役に立つこと、実際的な内容であること」を主眼に置いて、図書館資料や、行政情報を選択、展示しています。また、ブックリストを図書館ホームページにて公開しています。

課題解決テーマ展示

月	課題	タイトル	冊数
6～8月	筋力維持	今こそ筋力維持を！～こんな時だからこそ、健康に過ごし、筋力を衰えさせないように～	99
9～10月	コロナ禍の中でのステイホーム生活を楽しむ	お家生活を楽しく～Enjoy your home life～	76
11～12月	環境問題	持続可能なライフスタイルを	76
1～2月	起業・創業	起業・創業はじめの一步	65
3～5月	春の旬	春の旬って何がある？～春を満喫してみませんか～	68

※ 展示期間は概ね2か月間

【協力課・機関】

環境政策課、産業振興課、TOKYO創業ステーション TAMA、生涯学習スポーツ課、武蔵野健康づくり支援センター、等

7. 武蔵野ふるさと歴史館との共同展示

武蔵野ふるさと歴史館の企画展に合わせて、テーマに関連する図書の展示を行いました。

期間	企画展	備考	冊数
7月25日～ 9月24日	武蔵野の地名	企画展に合わせ、パスファインダー No. 2 「武蔵野市の地名の由来を調べています」の 臨時改訂版を発行	17
10月10日～ 12月28日	軍事郵便が語る日露戦争期 の武蔵野	軍事郵便制度が始まった日露戦争期の資料 展示。「坂の上の雲」関係の貸出多くあり	49

8. 武蔵野プレイス内で他機能等に提供した図書数

各機能等のイベントに関連した図書を依頼に応じて提供しました。

期間	内容	主催機能	冊数
9月22日	自由大学講座 2020(前期) 「浮世絵に見る江戸の四季と暮らし」	生涯学習	50
9月1日～ 9月15日	認知症を知る月間	高齢者支援課	65
9月15日～ 9月30日	自殺対策強化月間	障害者福祉課	50
11月13日～ 11月30日	女性に対する暴力をなくす運動	市民活動推進課	47
11月16日～ 11月30日	戦争と平和、武蔵野の空襲	市民活動推進課	50
12月3日～ 12月16日	税を考える週間	納税課	40
12月13日	ぷらっとプレイス「親子でD I Y～クリスマスツリー を作ろう！～」	生涯学習	20
12月11日～ 1月30日	天文学講座	生涯学習	42
1月12日～ 2月2日	おいしいぶどう すっぱいレモン	吉祥寺美術館	27
2月12日～ 3月21日	キャリア形成支援事業「プロに学ぶ！日常の気づきか らデザインプロセスを学ぼう～プロダクトデザイナ ー馬淵晃によるワークショップ～」	青少年	43
2月15日～ 3月28日	青少年によるテーマ展示「自分についての8つのコ ト」	青少年	33
2月26日～ 3月1日	武蔵野地域自由大学 大学正規科目履修登録	生涯学習	40
3月5日～ 3月6日	ぷらっとプレイス やって見たらおもしろい！「初め てのZ o o m体験」	生涯学習	23

9. マナー川柳

秋の読書週間に合わせ、図書館マナー川柳を募集しました。利用者のマナーの向上、また図書館利用の促進を図りました。

募集期間	10月27日（火）～11月9日（月）
投票期間	11月21日（土）～12月28日（月）
内 容	各館内掲示及び図書館ホームページなどで広報し、利用者から図書館マナーをテーマに句を募集しました。応募作品を各館内掲示とホームページ上で公開し、気に入った作品の投票を受け付け、投票が多かった句を入選とし、しおりを作成して配布しました。
応募作品数	44句
入 選 数	6句

■ 除籍資料リサイクル事業

平成5年度より、各図書館で保存年限を過ぎた雑誌を再利用するためにリサイクルを開始しました。平成9年度からは、除籍図書等も含め、希望する利用者は無償で頒布しています。

1. 概要

(1) 内容

各図書館にブックリサイクルコーナーを設け、常時、リサイクル資料を無償で提供しています。

(2) 対象資料

- ① 保存年限が過ぎ、廃棄の対象となった雑誌
- ② 時の経過につれて利用がなくなり保存価値を失ったもの
- ③ 利用の少ない複本図書
- ④ 改版が入手されたもの
- ⑤ 寄贈図書（図書館として不要な資料で、寄贈者からリサイクルの承諾を得ている図書）

(3) 提供冊数

利用者1人1回につき、10冊までを原則とします。

2. リサイクルコーナー提供資料数

単位：冊

月	中央	吉祥寺	プレイス	合計
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	1,133	350	1,483
7	1,026	954	1,518	3,498
8	1,349	380	1,934	3,663
9	641	774	1,270	2,685
10	1,037	482	997	2,516
11	508	302	802	1,612
12	1,099	373	1,113	2,585
1	755	86	453	1,294
2	590	565	688	1,843
3	1,046	362	870	2,278
合計	8,051	5,411	9,995	23,457

※新型コロナウイルス感染症対策のため、6月14日まで臨時休館

■ グループ学習室利用

中央図書館 2階のグループ学習室は、学習会や読書会等のため、2人以上のグループで使用することができます。

1. 利用申込み及び利用方法

- (1) 図書館カードを提示し、2階カウンターで「グループ学習室申込書」に必要事項を記入する。
- (2) 利用申込みは、利用日の属する月の1か月前の初日とする（電話での申し込みも受け付ける）。
- (3) 利用申込みは、1グループにつき、1日1回で1か月に5回までとする。
- (4) 利用時間
 - A：午前9時30分～午前11時
 - a：午前11時15分～午後1時
 - B：午後1時15分～午後3時
 - b：午後3時15分～午後5時
 - C：午後5時15分～午後7時30分（土・日・祝日以外）
- (5) 利用人員等
 - 小学生以上の2～8名のグループ

※新型コロナウイルス感染症対策のため、利用時間・人数を減らし、学習室2（窓あり）のみを利用可としました。

2. 利用状況

単位：グループ

室名 月	学習室2					小計	利用率
	A	a	B	b	C		
4	—	—	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—	—	—
7	6	4	14	13	5	42	36.2%
8	14	12	17	23	8	74	62.2%
9	7	7	14	18	5	51	44.3%
10	7	5	19	10	5	46	39.7%
11	7	5	19	14	4	49	43.0%
12	3	5	14	12	3	37	34.6%
1	1	6	8	3	3	21	26.6%
2	9	9	13	15	5	51	48.6%
3	6	8	18	17	6	55	45.1%
合計	60	61	136	125	44	426	42.9%

※新型コロナウイルス感染症対策のため、6月14日まで臨時休館。グループ学習室の利用は7月から再開した

■まなびとつどいのへやの学習席利用

吉祥寺図書館ではリニューアルを機に、2階の「まなびとつどいのへや」をWi-Fi環境のある学習室として使用することができる様に整備を行い、図書館の行事等が無い場合に限り同スペースを学習室として開放しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため休館中及び6月末までは利用を中止、7月から座席数・利用時間を半分にして運用しました。

1. 利用方法等

- (1) 場 所 吉祥寺図書館2階 「まなびとつどいのへや」(16席)
- (2) 利用可能日 吉祥寺図書館の開館日
※ただし、図書館がイベントやその準備等で使用する日、時間帯を除く。
- (3) 利用時間 午前9時30分から午後7時まで(小学生は午後5時まで)
一人1日につき1回、90分まで(延長不可)
- (4) 対 象 武蔵野市立図書館の利用者登録がある方
※学習席を利用希望の時点で利用停止となっている場合は不可
※小学生以上で、一人で学習ができる方
- (5) 受 付 吉祥寺図書館2階カウンターで直接申し込む
※席の事前予約不可。

2. 利用状況

単位：人

月	利用者数
4	0
5	0
6	0
7	459
8	754
9	638
10	629
11	562
12	443
1	328
2	459
3	459
合計	4,731

※新型コロナウイルス感染症対策のため、6月14日まで臨時休館

■ 大学図書館利用

利用資格に該当される方は、市内大学図書館を利用することができます。また、市立図書館を通じて、市内外の大学図書館の利用申請をすることができます。

1. 成蹊大学図書館

昭和 57 年 4 月、武蔵野市立図書館と成蹊大学図書館との利用協定が制定される。

平成 17 年度から、利用資格・手続き方法が変更される。武蔵野市立図書館では、1 日利用のみの受付となり、長期間利用の場合（有料）は、直接、成蹊大学図書館での受付となる。

(1) 利用資格

既に武蔵野市立図書館利用者カードを持つ、学生でない 23 歳以上の市内在住・在勤の方で特定の研究テーマをお持ちの方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、館外貸出は行わない。7 月・12 月・1 月の定期試験期間は、原則として利用不可。

(3) 利用手続

- ① 「成蹊大学図書館利用願」を武蔵野市立図書館に提出し、市内在住・在勤を証明できる公的な証明を提示する。
- ② 押印された利用願（1 日のみ）を成蹊大学図書館に 1 週間以内に持参する。

2. 亜細亜大学図書館

大学の社会への開放の一環として、一般社会人に対して図書館を公開している。武蔵野市立図書館では、1 日利用のみを受付し、長期間利用の場合（有料）は、直接、亜細亜大学図書館での受付となる。

(1) 対象

市内在住・在勤で、学術的研究を目的としており、亜細亜大学図書館の許可した方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、書庫の利用、館外貸出は行わない。

(3) 利用手続

- ① 「大学図書館利用願」を武蔵野市立図書館に提出し、市内在住・在勤を証明できる公的な証明を提示する。
- ② 押印された利用願（1 日のみ）を亜細亜大学図書館に利用希望日に提出する。

3. 日本獣医生命科学大学附属図書館

平成 17 年 5 月、覚書を取り交わしたことで市民が閲覧することができることとなった。

(1) 対象

市内在住・在学・在勤で、学術的研究を目的としている方

(2) 利用の範囲

館内閲覧のみで、館外貸出は行わない。

(3) 利用手続

- ①利用希望日の3～5日前までに、武蔵野市立図書館に「日本獣医生命科学大学附属図書館利用紹介申請書」を提出し、住所を確認できるものを提示する。
- ②大学図書館に利用の可否を確認の後、「利用願」が発行される。
- ③「利用願」を日本獣医生命科学大学附属図書館に提出する。

4. 市内大学以外の利用紹介申請（閲覧・複写）

(1) 対象

既に武蔵野市立図書館利用者カードを持つ、原則として学生でない市内在住・在勤の方
※その他の利用資格は、各大学の規程に準じる。

(2) 利用の範囲

各大学の利用規程に準じる。

5. 大学図書館利用願発行実績

利用願発行実績（3館合計数）

単位：件

年度	発行数		
	成蹊大学図書館	その他	合計
平成 28 年度	3	10	13
平成 29 年度	3	7	10
平成 30 年度	0	5	5
令和元（平成 31） 年度	0	5	5
令和 2 年度	0	0	0

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため大学側の利用が停止となっていたため実績なし

■ レファレンスサービス

レファレンスサービスとは、利用者の調査、研究についての相談に、図書館職員が図書館資料等を利用して援助するサービスです。平成 17 年度より、Eメールレファレンスを受け付けています。また、ホームページで、武蔵野市に関するレファレンス情報提供を行っています。平成 23 年度より、全館でのカウンター受付レファレンス件数の集計を開始しました。

1. レファレンスサービス利用方法 下記の場所、方法で受け付けています。

- (1) 図書館カウンター
- (2) Eメールレファレンス（図書館ホームページ）
- (3) その他（電話・文書等）

2. レファレンスサービス利用対象

Eメールレファレンスについては、下記の場合のみが対象となります。

- ・武蔵野市に在住、在勤、在学の図書館カードをお持ちの方
- ・武蔵野市の郷土行政資料に関するご質問の方

3. レファレンスサービス利用状況

単位：件

	カウンター			Eメール レファレンス	その他 (電話・文書 等)	合計
	所蔵調査 書架案内	レファレンス	調べ学習			
中央	14,675	193	14	17	2	14,901
吉祥寺	6,423	73	13	—	—	6,509
プレイス	15,284	78	29	—	491	15,882
全館	36,382	344	56	17	493	37,292

※ Eメールについては、中央図書館での受付質問数

※ プレイスの「その他（電話・文書等）」は、電話による所蔵調査受付数

※ 調べ学習は、小・中学生から寄せられた調べものについての質問

4. ホームページレファレンス情報提供

(1) 武蔵野市に関するレファレンス事例データベース

武蔵野市に関する質問（レファレンス事例）について、当市図書館所蔵資料を中心に調査したもの。平成 19 年度から公開。

(2) 武蔵野市に関する新聞記事見出しデータベース

新聞記事の中から、武蔵野市に関する記事を選択し、当館で「分類」、「主題・テーマ」を付与した索引データベース。平成 23 年 1 月から公開。

収録期間：平成 9 (1997) 年 1 月～令和 3 (2021) 年 2 月（令和 3 年 3 月現在）

今月 1 日～15 日分を翌月初旬に、16 日～末日分を翌月中旬に公開しています。

収録紙：朝日・産経・東京・毎日・読売新聞

(3) パスファインダー「おしえてむさしの！～武蔵野市についての調べ方案内～」

武蔵野市についての調べ方や資料を紹介したもの。平成 25 年度から公開。

令和2年度発行内容

No.13 (4月14日発行)「1964年 武蔵野市に聖火がやってきた」

No.14 (9月3日発行)「古い市内の写真を探すとき」

No.15 (11月12日発行)「ルーマニア ホストタウン ムサシノ」

中央図書館3階参考資料室において、パスファインダーで紹介した資料のテーマ展示を令和元(平成31)年度から開始しました。

展示期間	No.	タイトル	展示数
4月14日～7月※	13	1964年 武蔵野市に聖火がやってきた	
6月8日～9月1日	12	武蔵野市の気象変化・環境変化を調べる	36冊
9月3日～11月3日	14	古い市内の写真を探すとき	21冊
11月12日～4月6日	15	ルーマニア ホストタウン ムサシノ	48冊

※新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため中止

■ インターネット検索用パソコン

中央図書館では、令和3年1月に利用者用インターネット検索パソコンを1台から3台に増設しました。新聞記事等のオンラインデータベースの利用や調査、研究に必要なWebサイトの閲覧をすることができます。また、吉祥寺図書館には、インターネット検索用パソコンを1台設置しています。武蔵野プレイスには、10台のパソコンを設置した「サーチバー」（利用者用インターネットパソコンコーナー）があり、オンラインデータベースの利用、Webサイトや地域映像アーカイブの閲覧をすることができます。

1. サービスの概要

(1) 利用資格

武蔵野市の図書館カードをお持ちの方

(2) 利用時間

中央：1日1回30分（次に予約がなければ30分延長可能）

吉祥寺：令和3年1月から1日1回30分を2回まで

プレイス：1日60分まで

(3) 利用料金

無料（データベース等のプリントアウトはモノクロ1枚10円、カラー1枚50円。吉祥寺図書館は令和3年1月からカラー印刷可能）

2. オンラインデータベース（令和3年3月現在）

データベース名称	内容	導入館
日経テレコン 21	日経各紙記事、日経速報ニュース、会社情報等	中央・吉祥寺・プレイス
閏蔵Ⅱビジュアル	明治、大正、昭和の朝日新聞紙面 1985年～当日の朝日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
ヨミダス歴史館	明治、大正、昭和の読売新聞紙面 1986年～前日の読売新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
毎索	1987年～当日の毎日新聞記事	中央・吉祥寺・プレイス
Westlaw Japan	判例、法令データベース	中央・吉祥寺・プレイス
官報情報検索サービス	昭和22年5月3日から当日発行分の官報	中央・吉祥寺・プレイス
JapanKnowledge Lib	事典、辞書類を中心に40以上のコンテンツ 『日本大百科事典』、『日本国語大辞典』、『国史大辞典』、『日本歴史地名大系』等	中央・吉祥寺・プレイス
人物レファレンス事典 plus	1945年以降に国内で刊行された伝記・評伝類の書誌	中央・吉祥寺・プレイス
magazineplus	一般誌、専門誌、海外誌紙の雑誌記事	中央・吉祥寺・プレイス
Web OYA-bunko	大宅壮一文庫所蔵の雑誌記事	中央
国立国会図書館歴史的音源配信	歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HiRAC）がデジタル化した音源	プレイス
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	国会図書館が所蔵する図書、雑誌、古典籍、博士論文などをデジタル化した資料の閲覧	中央・吉祥寺・プレイス
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	利用者個人のパソコンからアクセスする音楽配信サービス	3館カウンターでID、パスワードを配布 ※
ELNET	1988年以降の新聞96紙、雑誌約150誌	中央・吉祥寺・プレイス

※吉祥寺、プレイスは、館内インターネットパソコンでも利用可能

※新型コロナウイルス感染症対策のため、6月14日まで臨時休館

3. 武蔵野市地域映像アーカイブ（武蔵野プレイス）

昭和初期から現在までの市やNHKが所有する武蔵野市に関する資料や映像を収集、「武蔵野市地域映像アーカイブ」としてデータ化し、市民共有の文化資産として保存、公開しています。

収録データ件数：動画 199 件、静止画 256 件（令和2年度）

4. インターネット検索用パソコン利用状況

月	中央		吉祥寺		プレイス		全館	
	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数	利用人数	印刷件数
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0
7	66	90	41	41	435	12	542	143
8	69	38	83	102	692	20	844	160
9	86	34	84	5	667	18	837	57
10	83	33	108	169	656	20	847	222
11	110	147	106	85	675	20	891	252
12	78	11	81	81	652	7	811	99
1	69	179	69	17	422	16	560	212
2	105	147	88	98	626	14	819	259
3	137	237	101	150	689	24	927	411
合計	803	916	761	748	5,514	151	7,078	1,815

※ 4～6月は新型コロナウイルス感染症対策のためインターネット検索用パソコンの利用停止

5. ナクソス・ミュージック・ライブラリー利用状況

月	中央	吉祥寺	プレイス		全館		備考
	発行件数	発行件数	発行件数	館内利用件数	発行件数	合計	
4	0	0	0	0	0	0	
5	194	0	0	0	194	194	
6	55	8	23	0	86	86	
7	16	21	16	7	53	60	
8	24	21	17	11	62	73	
9	30	18	15	17	63	80	
10	16	22	15	5	53	58	
11	19	17	19	9	55	64	
12	24	22	17	9	63	72	
1	15	12	14	9	41	50	
2	21	17	14	15	52	67	
3	24	8	24	23	56	79	
合計	438	166	174	105	778	883	
月平均	36.5	13.8	14.5	8.8	64.8	73.6	

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため6月14日まで臨時休館

※ 5月の中央図書館の件数は、メール受付によるもの

■ 電子書籍サービス

1. 電子書籍サービス

非来館型サービスの充実、市民サービスの向上、音声読み上げデータ等を活用した障害者サービスの拡充を目的に電子書籍サービスを導入しました。

図書館情報システムの入替に合わせ、令和3年1月12日から開始しました。

2. 貸出のルール等

対象は、武蔵野市に在住、在勤、在学の方で、図書館カードをお持ちの方。

- ・貸出 2点まで、2週間（14日間）
- ・予約 2点まで

3. コンテンツ数

7,710点

4. 貸出数

1,655点（1月12日～3月31日）

単位：点

月	貸出数
1月(12日～)	730
2月	515
3月	410

■ 図書特別整理

資料の現状を把握し、適正に管理するため、また、資料を整理し、利用しやすい環境を作るために、各館で年に1回特別整理を行っています。令和2年度は、図書館情報システム入れ替えの休館期間中に、入れ替え作業と並行して行いました。

1. 概要

(1) 実施期間

中央図書館は、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休館中に実施（5月下旬）
分館は、システム入れ替えの休館期間中に実施（令和3年1月4日（日）～1月11日（月））

(2) 業務内容

①所蔵資料の在庫点検（I Cタグ読み取り操作蔵書点検）、不明本の確認及び統計処理

②資料整理

開架資料の書架整理、選別（書庫入れ、除籍）

2. 実績

単位：冊・点

	種別	蔵書数 ※	点検期間に判明した 不明数（今年度）	点検期間に判明した 不明数（前年度）
中央	図書	666,992	79	60
	雑誌	31,776	5	10
	A V	17,263	2	4
吉祥寺	図書	100,985	3	12
	雑誌	3,417	0	1
プレイス	図書	184,323	22	34
	雑誌	10,184	13	10

※蔵書数は令和2年度末数

■ 図書館情報システムの概要

1. 導入の経過（主なもの）

年	月	内容
昭和 58 年		図書館内部でコンピュータシステム導入のための検討が始まる
昭和 59 年	10 月	武蔵野市立図書館電算機導入基本計画書作成
	12 月	電算対策委員会設置（委員 6 名、労働組合も参加）
昭和 60 年	1 月	個人情報保護審議会に入力項目についての審議を諮問
		電算機種選定委員会を設置（助役、企画部長、教育次長、電算担当副参事、図書館長、図書館管理係長で構成）
	2 月	個人情報保護審議会より入力項目について承認される
	5 月	電算機種選定委員会において機種決定される （NEC ACOS410 モデル 10 パッケージ LICs 2）
	12 月	本格稼働開始（中央図書館、西部図書館）
昭和 62 年	11 月	吉祥寺図書館開館、3 館オンラインへ
平成 4 年	11 月	システムのバージョンアップを図る（NEC ACOS 3300/55N）
		市民会館とのネットワーク開始（武蔵野市立図書館資料の検索及び返却のみ稼働）
平成 7 年	4 月	新中央図書館開館、利用者用検索機導入
平成 9 年	9 月	電算機入替に関し、個人情報保護審議会で承認される
平成 10 年	1 月	電算機入替（NEC より富士通へ。富士通 GRANPOWER7000 モデル 200、パッケージ iLiswing）
平成 13 年	2 月	東京都立図書館電算新システム稼働に伴い、検索用電算機設置
	11 月	武蔵野市立図書館ホームページ開設 （利用案内、蔵書検索、新着図書案内機能等。www サーバ：富士通 PRIMEPOWER 200）
平成 17 年	5 月	システムのバージョンアップに関し、個人情報保護審議会で承認される
	7 月	システムのバージョンアップを図る（富士通 PRIMEPOWER450、パッケージ iLiswing21/UX+へ） 図書館ホームページのリニューアルをする
平成 19 年	12 月	システムのバージョンアップを図る（富士通 PRIMEPOWER450、パッケージ iLiswing21/UX+ Ver. 6 へ）
平成 20 年	3 月	IC タグ管理及びブックディテクションシステム（BDS）稼働
平成 22 年	12 月	電算機入替（富士通より NEC へ。NEC Web 型パッケージ LicS-Web II） 自動貸出機、自動返却機、予約棚等 IC タグを活用するシステムを導入
平成 23 年	7 月	武蔵野プレイス開館とともに返却棚、予約棚の運用を開始
平成 28 年	1 月	電算機入替（NEC よりサン・データセンターへ。System x3550 M4 V2、パッケージ CLIS Ver. 3.0）
		サーバをデータセンターに設置し、クラウド方式を採用 図書館ホームページをリニューアル
平成 30 年	4 月	吉祥寺図書館改修工事に合わせ、予約棚、自動返却機を新設。自動貸出機、館内 OPAC（検索機）を増設
令和 2 年	12 月	電算機入替（サン・データセンター、CLIS Ver. 3.1 にバージョンアップ） 図書館ホームページをリニューアル（スマートフォン専用画面から、レスポンスデザインで、PC 版と同画面に変更。SNS 連携機能追加） システム入替と同時に、電子書籍を導入。中央図書館に、Wi-Fi 設備を導入（全館導入完了となる）

2. 個人情報保護に関する留意事項

利用者データの入力については、移行時も含めすべて自館内で行っており、利用者の検索も、パスワードを入力しないと検索できないシステムとなっています。

また、入力データについては、個人情報保護審議会に諮問し、承認を得ています。さらに、他のコンピュータシステムとの接続を禁じるなど、プライバシー保護については、慎重を期しています。

- (1) 利用者の登録番号は、図書館で独自に設定し、住民基本台帳をもととした住民情報と接続しない。
- (2) 利用者の読書記録は持たない。(ただし、利用者自身がログイン認証後に選択・記録・照会できる「読書記録照会サービス」をホームページと館内OPAC上で行っている。)
- (3) 利用者ファイルには、図書コードのみを、図書ファイルには利用者コードのみを記録し、利用者名と書名の直接の対応を避ける。
- (4) 生年月日は、年のみ入力(月日は全員4月2日で入力)。
- (5) 利用者の登録、修正、削除等個人のデータについてはパスワード等により、作業者を特定する。

3. 図書館情報システム所蔵機器一覧(令和3年3月現在)

単位：台

	場所	館内 OPAC	自動 貸出機	自動 返却機	ノート パソコン	デスクトップ パソコン	プリンター	インターネット パソコン
中央	4階電算室	—	—	—	1	1	1	—
	4階事務室	—	—	—	5	6	2	1
	3階	1	—	—	—	1	2	4
	2階	3	2	—	—	2	1	1
	1階メイン	6	5	2	3	3	1	1
	1階児童	2	1	—	—	1	1	—
	地下1階	—	—	—	—	3	1	—
	地下2階	—	—	—	1	—	—	—
	小計	12	8	2	10	17	9	7
吉祥寺	1階	3	3	2	—	3	1	1
	1階事務室	—	—	—	5	1	2	—
	2階児童	2	1	—	—	2	—	—
	地階	3	1	—	—	—	—	—
	小計	8	5	2	5	6	3	1
プレイス	事務室	—	—	—	7	4	1	1
	2階メイン	2	—	—	—	3	1	—
	2階児童	1	1	—	—	—	—	—
	1階	5	6	2	—	6	1	—
	地下1階	4	—	—	—	6	1	1
	地下2階	1	—	—	—	—	—	—
	小計	13	7	2	7	19	4	2
合計	33	20	6	22	42	16	10	

※ その他利用者用インターネット検索用パソコンが、プレイスに10台あり

■ 広報

図書館のサービスや事業、取組み等を広く市民、利用者に周知し、図書館利用を促進するため、様々な広報活動を行っています。

1. 図書館だより

図書館サービスや事業を広く周知するために年4回発行し、ホームページでも公開しています。令和2年度は、以下の4号を発行しました。

令和2年度内容

No.Ⅲ-第13号（4月8日発行）「大活字本（別置記号L）、LLブックをご存知ですか？」

No.Ⅲ-第14号（9月1日発行）「数字で見る武蔵野市立図書館～武蔵野市の図書館

令和元（平成31）年度 事業報告」

No.Ⅲ-第15号（12月22日発行）「今回は、吉祥寺図書館の一日をご紹介します」

No.Ⅲ-第16号（2月16日発行）「武蔵野プレイスの「B1トピックス」」

2. 利用サービスガイド

全館ガイド（利用案内）より詳細な利用サービスのガイドとして、主にOPACの利用の仕方などを中心に発行しています。令和2年度は、システム入替に伴い、更新しました。

3. ホームページ

図書館ホームページは、利用案内、お知らせ、発行物・会議録等を公開し、蔵書検索（Web OPAC）、インターネット予約、利用状況確認、レファレンス受付等を利用することができます。

ホームページ訪問数

月	訪問数	日数	1日平均
4	77,143	30	2,571.4
5	106,976	31	3,450.8
6	197,044	30	6,568.1
7	171,930	31	5,546.1
8	169,873	31	5,479.8
9	164,431	30	5,481.0
10	168,985	31	5,451.1
11	167,646	30	5,588.2
12	159,736	31	5,152.8
1	175,038	31	5,646.4
2	208,549	28	7,448.2
3	228,852	31	7,382.3
合計	1,996,203	365	5,469.0

※トップページカウンター数による算出

■人材育成・職員研修

平成 22 年 4 月に策定された『武蔵野市図書館基本計画』では、“質の高いサービスを支える体制・整備の施策”の一つとして、人材育成が挙げられています。同計画に基づき、平成 23 年 2 月、情報化社会の進展や職員体制の多様化等の変化の中で、図書館が目指す将来像を実現し、質の高い図書館サービスを提供するために、長期的な視点に立った図書館の人材育成計画を策定しました。

中央図書館の運営形態の基本方針を策定したことを受けて、市における図書館人材育成の現状と課題を整理し、計画的な育成を進めていくことを目的に「武蔵野市立図書館人材育成計画」を策定しました。

1. 職員研修の実施

日常業務の知識、技術の共有化と向上を図るため、館内整理日等を利用して、館内研修を実施しています。また、東京都立図書館、多摩地域市町村立図書館長協議会等が実施する外部の研修、研究会等に職員を派遣し、情報収集や担当業務に関わる専門知識を習得するように努めています。研修の成果については、各職員が記録、評価する個人シートを作成しています。

館内研修実施実績

研修名	実施時期	対象職員	参加人数	備考
新任研修	随時	新任職員・新任パートナー職員	16	中央 5 吉祥寺 6 プレイス 5
消防訓練	6 月 10 月	職員・パートナー職員	90	プレイス 45・45
レファレンス研修 基礎 (参考資料)	7 月	新任職員・パートナー職員	8	中央 8
一般環境管理研修	7 月	職員・パートナー職員	32	中央 32
情報セキュリティ研修	7 月 10 月 11 月	職員・パートナー職員	99	中央 32 プレイス 45 吉祥寺 22
児童担当者研修	7 月 9 月 3 月	職員・パートナー職員	32	プレイス 11・11・10
児童レファレンス研修	8 月	職員・パートナー職員	20	中央 20
著作権研修	8 月・1 月	パートナー職員	37	プレイス 37
消防訓練・システムダウン時対応研修	8 月	職員・パートナー職員	21	吉祥寺 21

上級救命講習	9月 3月	職員・パートナー職員	25	プレイス 14 吉祥寺 11
ZOOMミーティング アプリ操作研修	9月	職員	2	プレイス 2 ※外部講師
障害を持つ方への接遇 研修	10月	職員・パートナー職員	38	中央 38 ※外部講師
中央図書館への派遣研 修	10月～3月	職員	1	プレイス 1
ハラスメント相談員研 修	10月	職員	2	吉祥寺 2
レファレンス研修	10月 11月 1月 2月	職員・パートナー職員	86	中央 18 吉祥寺 22 プレイス 46 ※すべて外部講師
防犯研修	11月	職員・パートナー職員	32	中央 32
コロナ禍におけるメン タルヘルス研修	11月 12月	職員・パートナー職員	66	プレイス 45 吉祥寺 21
読書バリアフリー法研 修	12月	職員・パートナー職員	36	中央 36 ※外部講師
会計年度任用職員研修 (サービス・公務員倫理)	12月	パートナー職員	19	中央 19
製本研修	1月	職員・パートナー職員	33	中央 33 ※外部講師
レファレンス研修(雑 誌記事・論文DB)	2月	職員・パートナー職員	19	中央 19 ※外部講師
レファレンス研修(郷 土史)	2月	職員・パートナー職員	45	プレイス 45 ※外部講師
国立国会図書館デジタ ル化資料送信サービス 研修	3月	職員・パートナー職員	19	中央 19 ※外部講師

※ 参加人数には研修講師を務めた者を含む

外部研修参加実績

研修名	実施機関、団体	対象職員	参加人数	備考
都公立図書館地域資料担当者会	東京都立図書館	担当職員	2	中央 2
レファレンス研修	東京都立図書館	担当職員	1	吉祥寺 1
防火管理者新規講習	立川防災館	該当職員	1	吉祥寺 1

ビジネスマナー研修	(株)インソース	職員	2	吉祥寺1 プレイス1
新任図書館長研修	文部科学省	館長	2	吉祥寺1 プレイス1
図書館司書専門講座	文部科学省	担当職員	1	プレイス1
著作権実務講習会	文化庁	担当職員	1	プレイス1
レファレンス研修 (美術情報)	東京都立図書館	担当職員	1	プレイス1
都立中央図書館施設見学	東京都立図書館	担当職員	1	プレイス1
レファレンス研修(新聞雑誌情報)	東京都立図書館	担当職員	1	プレイス1
公共図書館視察(都立多摩・調布市立中央)	プレイス図書館	担当職員	5	プレイス5

※ 内容の異なる複数回の研修は延べ人数をとる

■ 図書館運営委員会

武蔵野市立図書館の運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市らしい特色ある図書館づくりを行うため、武蔵野市図書館運営委員会を設置して、①図書館サービスに関すること ②図書館主催事業に関すること ③施設、閲覧環境等に関すること ④その他図書館の充実に関すること等について協議しています。

【第9期武蔵野市図書館運営委員会】

○委員任期 令和元年10月1日から令和3年9月30日

○委員数 8名（学識経験者5名、公募市民3名）

○委員名簿 （委員長 船崎 尚 職務代理者 安形 輝 ）

委員名	任期	学識・公募
桂 まに子	令和元年10月1日～令和3年9月30日	京都女子大学司書課程専任講師
船崎 尚		元武蔵野大学司書課程非常勤講師 元武蔵野市立図書館長
松山 巖		玉川大学教育学部教育学科准教授
安形 輝		亜細亜大学国際関係学部教授
赤羽 幸子		武蔵野市立井之頭小学校校長
雨宮 桃香		公募市民委員
清水 暁		公募市民委員
四ツ谷 栄		公募市民委員

○ 委員会開催状況

回	開催日	主な会議の内容
第3回	令和2年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う図書館の臨時休館について（報告） ・議事要録の確認について ・図書館の運営について <ul style="list-style-type: none"> ①図書館事業評価（令和元年度）について ②図書館事業目標（令和2年度）について ・その他
第4回	令和2年7月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・議事要録（案）の確認について ・図書館の運営について <ul style="list-style-type: none"> ①図書館事業評価（令和元年度）について ②図書館事業目標（令和2年度）について ・市民への適切なサービス水準の確保について ・その他

第5回	令和2年10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・重点取組に関する目標シートについて ・図書館ホームページの検討状況について（報告） ・蔵書方針について（報告） ・電子図書館サービスの導入検討について（報告） ・その他
第6回	令和3年2月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市立図書館蔵書方針（仮称）案について ・新システムの稼働状況について（報告） ・中央図書館の今後の運営体制に関する基本方針（報告） ・その他

■ 図書館基本計画

平成 31 年 3 月、第 2 期武蔵野市図書館基本計画を策定しました。策定にあたっては、平成 29 年度に図書館基本計画策定委員会を設置し、検討を行いました。

1. 武蔵野市図書館基本計画の概要

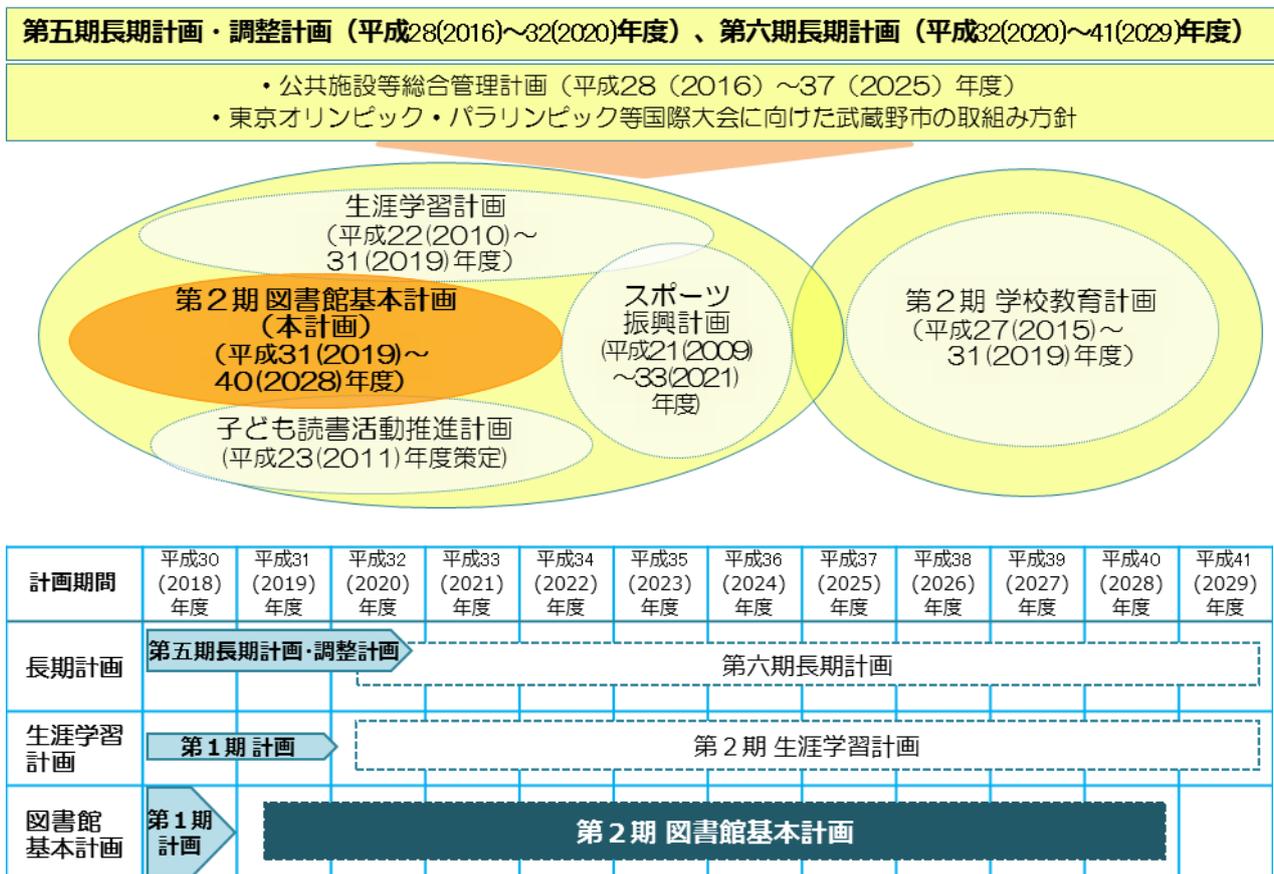
【1 計画策定の背景】

武蔵野市立図書館では 3 館構想を掲げて整備を進め、平成 7（1995）年度に中央図書館の移転、平成 23（2011）年度に武蔵野プレイスの開館、平成 30（2018）年度に吉祥寺図書館のリニューアルを行ってきました。整備が進む一方、インターネットの普及や生涯学習活動の活発化、さらには地域や住民による地域課題解決への支援の必要性の高まりなど、図書館をめぐる環境は大きく変化してきています。

上記の状況、および、平成 22（2010）年度に策定された第 1 期図書館基本計画が平成 31（2019）年度に計画期間を終了することから、武蔵野市立図書館が今後進むべき姿を描くと同時に、3 館の適切な役割分担、その実現のために必要な施策を網羅的・体系的に整理するため、第 2 期図書館基本計画を策定することとしました。

【2 計画の位置づけ・計画期間】

本計画は、長期計画（現行の第五期基本計画・調整計画の計画期間は平成 28（2016）～32（2020）年度）を踏まえ、教育・文化行政推進のための基本計画として策定されている生涯学習計画（現行計画期間は平成 22（2010）～31（2019）年度）の図書館部分について整理した個別計画として位置づけられるものです。



【3 計画の構成】

本計画では、第1章で計画の位置づけについて整理した後、第2章で武蔵野市立図書館を取り巻く現状と課題について整理し、それを受けて、第3章でこれからの10年における武蔵野市立図書館の理念・方向性とそれを実現する施策について記載しています。

第1章 計画の位置づけ	本計画策定の背景、位置づけ、期間等を記載
第2章 武蔵野市立図書館を巡る現状	全国の図書館の動向、武蔵野市の現状、市立図書館の現状から課題を抽出
第3章 基本理念と施策体系	武蔵野市立図書館が目指す理念とその実現のための施策を記載

【4 図書館基本計画の全体像】

第1期図書館基本計画の後、インターネットの普及、地域の課題解決における図書館の役割の拡大など、図書館を巡る環境は大きく変化しました。また、武蔵野市に限ってみても、全国的にみて非常に活発な図書館サービスを提供し続けている一方で、市外利用者が想定を上回り市民利用を圧迫しつつあること、資料の収蔵スペースの余剰が少なくなり、今後の資料収集への影響を考慮する必要が出てきていることなど、新しい課題が出てきています。

本計画では、上記を踏まえ、図書館の原点に立ち戻って「図書館の力」を一層高めていくこと、それを地域に活かしていくことで環境変化への対応をしていくことを基本の理念および方針とし、重点的な取組と、具体的な実施計画を立案しています。

ひととまちを「知」で支える

図書館の責務である「知る自由の保障」を原点におき、すべての市民にとっての知の面でのセーフティネットを目指します。

読書ならではの楽しさや喜びを提供し、武蔵野市民が知りたいこと・考えたいこと・解決したいことを「知」の側面から支えていくために、図書館の力を高め、市民と地域の生き生きとした活動に貢献していきます。

図書館の力を高める

(1)すべての人が「読む」楽しみを実感できる図書館

- ・インターネット時代にも変わらない読書の楽しみ、図書だからこそ得られる感動の体験を上げていきます。
- ・子どもや青少年、来館困難な市民や障害のある市民にも目を配り、読書への意欲に寄り添った支援をしていきます。

(2)すべての人が「知る」楽しみを実感できる図書館

- ・「知る」楽しみ、体系的に調べ考えることにより得られる「知」の価値や楽しさを、市民に上げていきます。
- ・レファレンスの高度化を実施します。

(3)「デジタルの力」を取り入れ、活かす図書館

- ・ICT技術を活用し、デジタル時代に相応しい新サービスの導入や既存サービスの高度化を図っていきます。

図書館の力を地域に活かす

(1)地域住民の課題解決を支援する図書館

- ・地域の課題解決に取り組んでいる行政の部署、専門機関、民間団体、市民団体、NPO団体などとの協力・連携・協働を強化し、市民の課題解決を支援します。

(2)人々の交流と文化創造を支援する図書館

- ・3館それぞれの特性を生かしながら、青少年活動や市民活動、学校教育など、各種の機能と効果的に連携して、市民交流や地域文化の創造を支援します。

↓基本方針実現のために、本計画期間において特に取り組む重要な項目↓

- ・すべての人への適切な読書環境と読書支援の実施
- ・レファレンスの強化と普及
- ・蔵書方針の見直し
(複本冊数の抑制・3館の地域特性を活かした選書)
- ・情報発信力の強化
- ・専門人材の育成・強化

- ・地域課題解決支援の強化
(他部署や他機関、学校などの教育機関、地域の団体や企業などとの連携や協働の推進)
- ・市民への適切なサービス提供
(市外登録者のサービス内容の見直し)
- ・中央図書館の役割の明確化と運営形態の検討

【5 実施計画の体系】

武蔵野市立図書館では、「基本理念」を実現するために、図書館運営に関する項目として3つの実施計画を、図書館サービスに関する項目として4つの実施計画を設定し、それぞれ様々な施策・事業を展開していきます。

それぞれの実実施計画に基づき、個別の事業に取り組むことで、「基本理念」に向けて着実に計画を実施していきます。

(図書館運営に関する項目)

(1) 図書館施設・機能の充実

- ①図書館機能の充実（配本サービス、団体貸出、公共施設での窓口開設）
- ②既存施設の整備・改修（計画修繕・改修、中央図書館リニューアル検討、館内環境整備）
- ③図書館情報システムの改良（情報発信力の向上、省力化・サービス向上）

(2) 安心して利用出来る図書館環境の構築

- ①利用者の安全性を高める設備・サービスの充実（防犯カメラ、安全維持、防火・防災）
- ②個人情報とプライバシーの保護
- ③危機管理体制の構築（マニュアルの改善・更新、危機管理研修・訓練）

(3) 質の高いサービスを支える体制整備

- ①職員の人材育成（計画・継続的な育成、視察・外部研修、政策立案・形成人材の育成）
- ②施設の管理運営形態（中央図書館の運営形態、開館日・開館時間の検討）
- ③図書館運営評価の実施（内部評価・目標設定に基づく事業執行、図書館運営委員会）
- ④開かれた図書館運営

(図書館サービスに関する項目)

(1) 地域の情報拠点としての情報蓄積

- ①一般図書（地域特性等を生かした選書、除籍基準見直し、DB強化、電子図書研究）
- ②逐次刊行物（新聞・雑誌等）
- ③視聴覚資料（CD・DVD等）
- ④児童・ヤングアダルト（青少年）資料
- ⑤郷土・行政資料（ふるさと歴史館との分担での収集、地域課題解決支援など）
- ⑥利用困難者サービス資料（録音・点訳・大活字本等）

(2) 市民や関係機関と連携したサービスの充実

- ①市民との協働
- ②他の図書館施設、行政部局との連携・協力（大学図書館・専門図書館、庁内サービス等）
- ③学校との連携・協力

(3) 図書館の活用と情報収集の支援

- ①貸出・閲覧サービス（市民への適切なサービス水準の確保）
- ②本に親しめる環境の整備（情報提供、子ども読書活動推進計画、各種読書支援活動など）

③市民の生涯学習や市民活動の支援の充実

(4) 市民の学びと課題解決の支援

- ①レファレンスサービスの強化・普及（「知る楽しみ」の普及活動など）
- ②「知る楽しみ」を拡大する情報の収集、提供、発信（インターネット利用環境の充実など）
- ③課題解決の支援（行政他部署・大学・地域団体との連携、図書館による課題発掘など）

【6 計画実現に向けて】

計画の施策・事業の進捗状況や成果を把握するために、施策・事業の内容について定期的に確認・点検を行い、必要に応じて改善をしていきます。事業を推進していくために下記のサイクルにより、進捗管理を行っていきます。

